京城日報

（刊休無中年）

十一月二十日夕刊 （朝夕刊併せて八頁）

講和條約は廢滅し 聯盟不成立に了らん

ウイルソン氏の意見

ウイルソン氏は講和條約は保留の結果として廢滅に歸し且つ聯盟規約は無効となり聯盟の成立すら不可能に終る可しと思惟し居れりと（華盛頓電報）

附 保留 批准否決命令

ウイルソン氏は保留附批准を否決す可くヒッチコク氏に命令せり（華盛頓電報）

東洋人勞働問題

日本委員陳述書發表

東洋人勞働問題に關する委員會は十日朝開會日本府委員は陳述書を發表し日本其他東洋國民に對し特別の考慮を與ふ可き主張をなし日本政府は既に義務教育を終へたる者を除き勞働者の最少年齡を十四歳とする原則を適用す可く努力す可し又十歳以上の小兒に對しては容易なる仕事に從事する事を許り現在に於ける日本の法律を廢止す可く盡力す可しと斷言し武藤氏は最少年齡設定を主張せり（華盛頓電報）

墺太利政府倒潰

墺國共和政府は遂に倒潰せり（維納電報）

伯林軍國的運動

戰爭責任審問會の不要を叫ぶ

伯林來電＝伯林に於て軍國的大運動勃發し數千の學生其の他の群衆は街路に熱狂しヒンデンブルグ元帥及びルーデンドルフ將軍が議會內に於ける戰爭責任審問委員會に赴く途中是れを擁して熱狂的大喝采を浴せかけカイゼル萬歲を叫ぶと共に現政府を罵倒し審問委員會の不要なることを絕叫せり（シドニー電報）

日本兵士募集否認

＝不正獨人の惡計＝

瑞西日本公使館附佐藤武官は日本が瑞西に於て士官下士の募集に努めつゝありとの報道を公式に否認し右は全く不正なる獨逸人等が應募者より保證金を捲上げんとし日本政府の名を借りて募集を爲す旨を云ひ觸らしつゝあるものにして日本は熟練なる將校及び下士十分あり外國人を雇入るゝの必要なしと言明せり（ベルン電報）

我陸戰隊上陸

浦鹽領事館保護

浦鹽來電＝十七日浦鹽に騷擾勃發したる爲め同港警備中の帝國軍艦肥前は直に陸戰隊を上陸せしめ帝國領事館の保護に任じ居れり（東京電報）

ガイダ將軍行方不明

十七日浦鹽停車場にてガイダ將軍及びテザノフ將軍の部下間に衝突起りガイダ將軍の部下は敗北し將軍は行方不明となりたるが或は逮捕せられたりといひ又は軍艦に遁れたりとも傳へられ居れり（浦鹽電報）

山東意見交換か

山東省長晉京＝直接交涉希望

山東省長屈映光氏晉京の用件は表面國會の衝突を調停する爲めなりと傳へられ居れるも一說に依れば彼の用件は山東問題に關し政府と意見の交換を爲さんが爲めにて彼は十七日既に陳外交總長代理と面談せり而して山東問題に關し北京政府は濟南府當局者と一致の態度を執るべく決定したるが多分國際聯盟には提出せず日支兩國の直接交涉を希望し此の際第一着手として山東に於ける民政署及び軍隊を撤退せしむることを主張するならんと（北京電報）

福州同盟罷業

福州にては全市同盟罷業を行ひ十七日國民大會を開くことゝなりたりと又別報に依れば日本人は隊伍を組み護身用として刀劍銃等を携へ萬一を戒しつゝあり人心恟々たりと（上海電報）

學生引渡要求

李福建督軍は日本領事に對し捕へられたる學生の引渡しを要求せり（上海電報）

一年志願兵條例改正可決

不日勅令を以て公布

十八日の閣議にて一年志願兵條例改正可決せられたるを以て近々勅令を以て公布せらるべしとの事なるが其の要旨は一年現役勤務の上に直ちに引續き第一次及び第二次の教育召集を行ひ得る如く規定し（從來は第一次は現役後三年目に召集せり）一方從來の煩雜なる教習の弊を除去すると同時に尙は教育の效果を擧ぐる爲め步騎砲工輜重以外の軍醫、主計生、獸醫生、藥劑生の如きは技術者たるの關係上他の兵科と同樣の教育を施すの必要なかるべく從つて召集期日の如きも短縮せらるべしと（東京電報）

外相更迭無根

外相更迭說に就き外務當局は無根の風說なりとて之れを否認し居れり（東京電報）

安東銀狂騰

狂騰に次ぐに狂騰を續けたる安東市場銀相場は十八日銀一兩に對し二圓九十六錢の記錄を作りたるが十九日は三圓十四錢の暴騰を現はし更に高値は二十七日限三圓三十一錢五厘といふ空前の相場出來信託公所にて二十七日限三十八萬兩十二月十三日限七十九萬兩の手合出來たり爲に製

水道料金引上

五割增徵＝十二月一日より實施

二十一日府令を以て官營水道給水規則中改正の件を發布十二月一日より施行のことゝなるべきが現行官營水道給水規則は大正四年の改定に係り以來經驗上不備の點あると共に近時物價騰貴の影響に因り經營上著しき支障を及ぼすを以て今回の改正に於ては五割の增額をなすと同時に水道の經營收支上實際に適應せしむる爲め不備の箇所を補修することゝなりたるものなるが今其の改正の主なる內容を見るに（一）現行法第二條に於て官設共用給水は總代を置くことに限定しあるも却て弊害を生ずる者あるに因り總代を置くと否とは水道の便宜に依ることゝし實際に適應せしめたること（二）現行法第七條に於て私設若くは官設の共用給水に在りては給水用具の異狀給水使用者の異動其他事故發生の屆出義務を總代人に限定され居たるも官設共用給水に關しては總代人を置かざることを得せしめたる結果其の總代人ある場合は總代人より又總代人なき場合は給水使用者各自の責任と改めたること（三）現行法に於ては給水用具の撤去費用は給水用具の貸付を受けたるものより徵收することを規定せり此の場合に於て給水用具代價の分納金を納付したる者ある時は撤去跡給水用具使用料又は給水料の未納金を分納金より控殺し不足金を徵收するの途を開きたること（四）現行法に於ては給水用具使用料の徵收方法に關し何等規定なかりしも今回は一年度間を六期に分ち每期二ケ月分宛の使用料を徵收することゝしたること、其の他量水器に異狀又は給水用具に故障ありたる場合の消費量に關する件計量の方法に依る量水器二個以上を備へたる場合の規定なりしを各一個毎に給水料を算定して徵收することゝ等なり因に官營水道は京城、仁川、平壤、鎭南浦の各地なり

日銀帳尻

十八日の日銀帳尻左の如し（東京電報）

	千圓
發行高	一、〇九九、〇三二
正貨準備	八二三、六〇七
限外發行	一五六、四二五
貸出高	三五一、六九八

木炭需給豫想

西村殖產局長談

一般物價騰貴の趨勢に支配せられ昨年來薪炭の價格は頓に昂上し木炭の如きは昨年夏季に於て既に一昨年冬季の最高價格を凌駕するに至り其の冬季に於ける一般の窮狀を慮り本府に於ては是が供給調節を計るの必要を認め東京、九州、北海道各大學演習林より木炭の生產增加を計畫し相當の效果を現はし一般の困窮は冬季需要最盛期に及ぶも反て

低落の現象 を示せり、是れ各道及び當業者の努力與つて力ありしは固よりなり而して薪は木炭と異なり重量容積共に甚だしく大にして需要地附近より供給するに非ざれば運搬に多大の費用を要するのみならず價格も亦木炭に比すれば低廉なるを以て之が調節に就ては各地方に於て夫々適當の處置を採り或は薪材に代ふるに石炭を以てし又は柴草を以て之に代らしむる等の方法に依らしむることゝし本府は木炭のみに付き調節の計畫を策することゝせり本年も

薪炭の價格 は依然として騰貴を示し低落の模樣なきのみならず一方朝鮮全土に於ける本年九月より大正九年三月迄の需給狀況に付各道の報告に依れば本府の見込を概括するに大要消費見込量は約一千五百四十萬貫に對し供給見込量は約一千三百六十萬貫なるを以て約百七十萬貫の不足を告ぐる計算なれり因つて本府に於て之が補給調節を圖るの必要を認め前年の例に倣ひ東京、九州、北海道各大學演習林、安邊國有林、江原道製炭事業所等より百數十萬貫を

消費見込量 約四百萬貫京城は九月初旬の豫想に依れば從來需給關係に最も重要なる主要都市に付いて之を觀るに其の需給の補足充分なる見込なり以上の外仁川、大邱、木浦、群山、平壤等の都市に就ても夫々充分の考慮を加へ相當の對策を立てあるに依り略ぼ供給の缺乏を訴ふるが如きことなかるべしと思料せらるゝも本府各道に於て採りたる應急施設なるも將來の恒久的計畫として別に考究を爲し燃料の缺乏に依る一般の憂慮を除去するに努めむとす

增產供給を 爲すことの移入增加ある見込なるのみならず煉炭一萬四千噸の配給あるを以て本年の需給は格別困難を缺くことあらざるべし見込なるを以て釜山に就て見るに內地よりの移入昨年に比し頓に增加し本年一月より七月迄に於て約八十二萬四千貫の移入あり昨年の同期に比し約三十二萬貫の增加を示し其後尙增加の趨向に進みつゝあるを以て同府に於ては

綽々として 餘裕あるべく其餘給は他の市場に配給せらるゝは勿論なり以上の外仁川、大邱、木浦、群山、平壤等の都市に就ても夫々充分の考慮を加へ

二萬噸に比し本年は二萬五千噸を供給するの豫定にして約五千噸（煉炭一噸の火力は用途に依りて同一ならざるも大凡木炭の二百八十八貫の火力に相當すと云ふ）を增加するのみならず各道共木炭の生產增加を圖り夫々供給の潤澤を期し取引及輸送の促進を講ずる等調節の方策を講じつゝあるを以て大體に於て其の補足充分なる見込なり

物價續騰

十月中の京城主要商品相場

朝鮮銀行調查に係る十月中の京城重要商品物價指數は第一類生產品三四九、五〇第二類三〇四、八七にして總平均指數三三九、二一を示し之れを前月に比し生產品に於て一六又輸移入品に於て六並に總平均指數に於て約十二の騰貴となり前月分の平均を一〇〇とすれば本月分は一〇三七〇となれり例によりて各品の騰落概況左の如し

明治四十三年十月の物價を一〇〇として算出△印騰貴▲印下落□印保合

生產品	十月	前月
玄米	△四六三	四四七
精米	△三九七	三七九
大麥	△三三七	三二五
小麥	△三二二	二九八
大豆	△三一三	二六五
小豆	△四六八	三七九
[illegible]	△二六六	[illegible]
葉煙草	△五七一	[illegible]
明太魚	△五五六	五四八
[illegible]	△一六四	一七三
木綿	△一二三	一八四
[illegible]	□三八〇	三八〇
挽材	△三四四	三三三
松薪	□二二九	三二九
炭	△二八八	二七五
紙	△三五七	三四二
牛皮	△三五三	三三〇
牛	△二七〇	三二一
平均	△三四九	三三三

輸移入品	十月	前月
麥粉	△二三四	二四七
精糖	△三九〇	三八六
醬油	△二一〇	二〇七
清酒	△三一一	二五五
麥酒	□一八四	一八四
[illegible]酒	△四七〇	四五一
和金巾	△三六二	三五八
支那絹	△二三六	二二五
綿花	△二五五	二三〇
石油	△三五二	三四〇
石炭	□三六〇	三六〇
燐寸	□二六四	二六四
木材	△二八四	二七一
金物	△三八七	三九一
洋紙	□二七二	二七二
平均	△三〇四	二九八
總平均	△三二九	三一七

生產品は騰貴十四品低落二保合二品にて就中米は定期に伴れ大豆小豆は銀高に伴ひ牛皮牛脂の如き二六五より三一一に突飛したるの他概して高値を示し居れる內地注文續來に氣配は益々手堅き成行なり又輸移入品は騰貴九品低落三保合四品にして清酒の如きは大體に於て高價の傾向にあり當月の物價指數は更に上り居るべしと

五州輕鐵改稱

資本金一千萬圓

五州輕鐵會社發起人代表者小山莊三氏よりの出願に係る五州輕鐵株式會社の名稱主なる事務所所在地並に資本の總額變更の件は十九日附許可の指令ありたり

鮮銀店長異動

今回鮮銀にては左の如く店長の異動を行ひたり

營業局勤務 前鎭南浦支店長 野村稔一
鎭南浦支店長 營業局勤務 古宇田晟
遼陽出張所長 前開原支店 西澤隆次郎
依願解職 遼陽出張所長 藤岡繁太郎

李家市長動靜

支那視察の途に就きたる李家京城府尹は[illegible]十九日[illegible]旅團に[illegible]一泊したる[illegible]二十日午前[illegible]府廳[illegible]し正午山口縣人[illegible]の歡迎會に臨み午後二時より[illegible]

ウーヅ博士退城

滯京中の米國哲學博士ロバート、エ、ウーヅ氏は廿日朝北行列車に搭乘滿洲へ向け出發したり因に十九日講演終了に際し謝辭を述べたる人は佐藤虎次郎氏の誤りに付訂正す

鮮銀帳尻

十八日現在如左

發行高	一三八、七一二、六二五
正貨準備	六九、六五三、三五九
保證準備	六九、〇五九、二六六

接伴と歡迎會

[illegible]二十一日朝京城に決定し[illegible]同夜十一時[illegible]北行すべし[illegible]

財界閑話

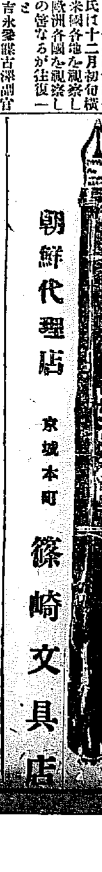
[illegible]市場は二三日整理のために休場し[illegible]

人事消息

▲朝倉外茂鐵氏（辯護士）訴訟用にて全南長興地方に出張中の處十九日夜歸城
▲本木房吉氏（辯護士）大邱釜山に出張中の處十九日夜歸城
▲時永警務局事務官 嚢に歐米視察を命ぜられたる氏は十二月初旬橫濱解纜桑港上陸米國各地を視察し夫れより戰後の歐洲各國を視察し印度を經て歸朝の筈なるが往復一箇年の豫定なりと
▲淨法寺師團長 吉永參謀古澤副官を從へ二十日朝金州へ
▲奥田旅團長 同日同地へ
▲寺尾亨六氏（工兵少佐）十九日朝清津へ往復二週間の豫定
▲佐藤三郎氏 同上
▲津田[illegible]雄氏（實業家）東京へ旅行中の所二十日夜歸城
▲丹羽清次郎氏 ウーヅ博士と同行廿日朝奉天へ赴き來週水曜日歸城の豫定

其の日

◇國內の紛議に惱める米國は彼是他人の病氣を頭痛に病むの暇無かるべく、愈近く歐洲より一切手を引かんとするもの、如し。元來米國が歐洲大戰に參加せしは抑もの誤り也[illegible]
◇英米兩國は、四國銀行團組織より日本の蒙古を除外すべしと主張する日本の希望に、愈々反對せんとするもの、如し。彼等の肚は既に一人の首も承知する處也、今更反對なりとて何の譏をも得せしむるなし。我國人は我帝國の自由に行動する、何ぞ他人の容喙を待たんや。今日日本のみ特別に除外せんとするは道理之れを許さずと云ふも、我帝國の特種權利に對して他人の之れを云々するは、事理に於て之れを許さず、道理は二つ無き也。
◇勞働會議に於て日本は特殊國に加入せり。特殊國加入は甚だ遺憾にして除外せられたること諸國のお歷々ならずや。巴里公議に於て現世界列強の首班として、英米佛伊及び日本の五箇國が牛耳を取りし時、何時の間にか日本以外の四箇國となりしに、大いに憤慨したる諸君は今回の特殊國加入に、又以て光榮とするや否や。

絕對にインキの漏出せざる
米國製 ムアー號萬年ペン
一號 金五圓二十錢

朝鮮代理店 京城本町 篠崎文具店

▼仲買店開業
本月貳拾日開店
私儀豫而出願罷在候仁川米豆取引所仲買人營業の件先般其筋の御認可を得申候に就ては左記場所に於て營業開始仕候間何卒宜敷御引立被成下度申す迄も無御座候得共御注文に對ては迅速確實を旨として機敏に御用命御勢め顧客本位丁寧誠實出來得る限り御便利に御取扱可申候間多少に不拘御用命御仰付被下度伏て奉懇願候 敬具
大正八年十一月
株式會社仁川米豆取引所仲買人
待 布井仲買店
電話 長 二六四番
電話 長 三三五番
發信電略 ヌ（文八）ヌノ井
受信電略 仁川 ヌノ井
店主 布井一嘉造

冬が來た　東大門外所見

嚴寒と戰ひつゝ
汝矣山の攻防演習
手榴彈飛び照明彈輝かむ　京龍では始めての試み

龍山步兵第七十八聯隊にては野砲兵大隊工兵中隊と聯合して步兵大佐堀田聯隊長統裁の下に二十四日より汝矣山附近に於て壯烈なる攻防演習を實施する事となり今想定の大要を聞くに蠻州街道を南下したる北軍は優勢なる敵が京釜街道を前進中なりとの報に接し楊津里附近に於て軍橋を渡り汝矣山附近に於て防禦するに決し一方南軍は敵を攻擊すべき目的を以て京釜街道及び果川街道を北進し果川及び始興附近に達したる時敵が汝矣山附近に堅固なる防禦陣地を構成するを知り敵の監視部隊を驅逐して鷺梁津及び牛臥皮附近に前進を終れりと云ふにあり右の爲め步兵第七十八聯隊は二十一日の午前八時營門出發

陣地を構成　すべく最も壯烈なる戰鬪は二十四日午前八時より開始さるべく先づ南軍は鷺梁津附近より攻擊前進し汝矣山附近に達し茲にて頑强に抵抗する敵を擊破するに努力すべし斯くて逐次夜間工兵隊の力を借りて或は坑道を掘り或は土囊を以て陣地を構成しつゝ

敵に肉薄し　最後は最も壯烈なる突擊陣地を構成し汝矣山を占領するに至るべく二十四五兩夜は兩軍とも不眠不休激烈なる戰鬪を開始すべし其壯烈の狀たるや宛ら

青島攻圍戰　を見るの思ひあるべし工兵の活動と共に步兵の活動亦術を極むべく壯烈なる突擊陣地より敵陣地に喊聲を擧げて突擊する時手榴彈は雨下すべく照明彈は汝矣島附近の闇を破つて壯觀を極むべし堀田聯隊長の談に依れば『攻防演習は京龍附近に於る始めての試み』この事なれば市民が是を觀戰するも亦興味尠からざるべし

二十一日より全州裡里間に於て實施さるゝ事となり淨法寺師團長奧田旅團長宮塚聯隊長以下各將校は二十日朝演習地に向へり

朝鮮に飛行場
平壤と龍山に

陸軍航空隊にては豫て朝鮮に飛行場設置の計畫あり其後調査の結果陸軍省にても適當と認め近く朝鮮に二箇所新設する事となり一ヶ所は略平壤に決定したるもの、如く一ヶ所は多分龍山なるべしとの說あり右は來年度より實施さるべしと云へり

狩獵客の爲に
臨時列車運轉　毎日曜開城迄

今や漸く狩獵の好期に入り毎日曜日銃獵を肩に遠征を試みる者增加したるを以て京管局にては是等狩獵家の便を圖り十二月七日より四月末迄毎日曜日南大門開城間に左記臨時列車を運轉する事となれり

南大門　午前一時二十分發
龍山　午前一時五十五分發
開城　午前四時四十八分着

行は開城驛一番發列車と接續すべしと

鵞口瘡益々蔓延す
畜牛檢疫開始

平安南北道に鵞口瘡の發生せるは既報の如くなるが漸次同病蔓延の兆を呈せるより當局に於ては平壤以北の各驛にて畜牛の檢疫を開始せり尙釜山鎭に於ける移出牛に對しては檢疫醫を派して隨時診斷を爲さしめつゝあるが鵞口瘡は傳播力の殊に甚だしきを以て發生地に於ては其部落に遮斷を施し發生部及び之が隣接の部邑には畜牛個々に付健康診斷を施行し病疫撲滅に腐心し居れり

其後の發生

平安北道の鵞口瘡は漸次蔓延の勢ひを呈し北鎭遠郡に二頭雲山郡に八頭泰川郡に十二頭發生せり（二十日電話）

又も眞正患者
開城の虎疫

開城府南面與應里に眞正虎疫鮮人十五名疑似一名發生内九名死亡更に蔓延の兆あり（二十日電話）

幹部演習開始

步兵第四十旅團の幹部演習は愈々二

浦鹽の市街戰
終夜猛烈に砲火を交ゆ
ガイダ將軍終に捕はる

浦鹽停車場附近に於ける市街戰は十七日午前より終夜猛烈なる交戰を續行したる後十八日午前六時三十分に至り政府軍は遂にガイダ軍の占據せる停車場を占領し七時ガイダ將軍以下其幕僚全部を捕虜とせり　ガイダ軍の多數は投降し三々伍々自ら出で、捕虜となるもの尠からず午前十時に至りて銃聲次第に微になり行きて殆んど終熄に近く戰鬪漸く鎭定の模樣あり、市中は戶を鎖し一般に業を休み居れり（浦鹽特電）

本當の歌劇　中を鳴らしてゐる三浦環夫人が希望が迹べて……二月頃迄　歌劇を打つ迄心待ちにしてゐますと云々倫敦……

連絡船上陸客　田鈴三、田中新三郎、同千代、稻葉猪風、和田九藏、石尾勘六、竹……

仁川　走米

曇少雨後晴

十一日目に東京着
一時間百七十哩の速力で
ダヌンチオ氏の大飛行　先發將校の談

神戶に上陸した

ダヌンチオ氏の羅馬東京間大飛行の準備の爲め先發隊として來朝のアマベー、ゼランド兩陸軍技師は十八日午後神戶入港の熊野丸にて上陸セントラル、ホテルに入りたるが一行の語る所に依れば日本への飛行隊は士官一名飛行下士五名ダヌンチオ氏共都合七名なり途中の着陸地點は左の箇所に定まり居れりと▲第一日　羅馬、サロニカ▲第二日　カタイダイマ▲第三日　バグダッド▲第四日　ーバッパ、カラチ▲第五日　カルカッタ▲第六日　蘭貢、盤谷▲第七日　厦門、香港▲第八日　福州、上海▲第九日　牛莊、青島、北京▲第十日　朝鮮▲第十一日　大阪、東京　即ち羅馬發後十一日目に東京に着する豫定にて此の距離八千哩を一時間百七十哩の速力を以て飛行するものなりと（神戶電報）

飛行機來を控へて
大邱署長訓示

伊國飛行機來訪に關し大邱警察署長は十七日午後府內鮮人料理屋、旅館、飲食店、貸座敷業者を召集し左の訓示をなしたり

（イ）營業場を修理し不體裁の箇所なからしむる事
（ロ）營業用の器具設備を充分にする事
（ハ）不當の料金を請求せざる事
（ニ）顧客の待遇に注意し親切叮嚀に取扱ふ事
（ホ）火災又は盜難の豫防に注意する事
（ヘ）營業場の掃除に注意し清潔を保持する事
（ト）浴槽、寢具其他客に供する器物を清潔にする事
（チ）飲食用器具を清潔にする事
（リ）飲食物に注意し不熟、腐敗又は不消化物を供せざる事

尙自動車及人力車の各營業者を集め市內より飛行場に至る賃金等を規定し其他車體等充分なる設備をなさしむる筈（大邱）

伊飛行家招宴

大野軍參謀長は目下來城中の伊國飛行將校エスポシート氏を十九日夜朝鮮ホテルに招待し遠來の勞を……

支那紙は斯く報ず
福州の日支人衝突事件

福州に於ける日支人の衝突事件に就き支那紙の報ずる所に依れば十六日青年會館に於て講演あり其の夜安樂街附近にて日本人の遊擊あり支那學生一人殺されたれば官憲學生等應援に赴きたるに警官一人狙擊せられて倒れ學生一名負傷せり日本人は青年會館に闖入し支那人二名を狙擊し負傷者を生ぜしめたり斯くて死傷者總數十一名に達し現場に於ては日本人十三名逮捕せられたり中には日本領事館附警部ありて是れを指揮し居りたり（上海電報）

福建督軍　抗議

北京政府へ要求　福建督軍は福州に於て日本人と支那學生と衝突し日本人は支那巡警の止むるを肯かず遂に巡警一名を擊殺し學生數名を傷つけたり日本國に嚴重に交涉されたしと政府に求め來れり（北京電報）

モーリー氏
上告公判　來る廿七日

犯人藏匿事件被告米國宣教師モーリー氏の上告公判は愈々來る廿七日高等法院に於て第一回公判開廷の筈辯護人中鶴澤圓士は出廷せず今回は大久保辯護士一人なりと

公判廷の山田憲（左）次は渡邊惣藏、其次は山田庄平

辯護士減刑を望む
山田憲の人格を賞揚し他に共犯者ありと主張
鈴辨殺し續行公判

山田憲に關する續行公判は十九日午前十時より開廷され辯護人吉原辯護士より相當の科學的知識を有する憲が裁判長の訊問に對して首と脚とを切り離したる原因に就き說明し難き原因は何者か他に潛伏せるものゝあることを證するものなりとて極力他に共犯者のあることを說き尙ほ憲が薄給の身を以て苦學生を養ひ居りし事實を擧げ憲の人格を推稱し檢事の云はるゝが如き決して金の爲めの犯行に非ずとて減刑を望み小惣藏は事業兒の如く敬へる憲より依賴せられ止むなく此の犯行に出でたるものなりとて同樣減刑を求め正午一先づ休憩したり（電報）

若き男女の抱合心中
この寒空に漢江へ投身

十一日午前七時三十分頃龍山漢江人道鐵橋より投身情死を遂げたる若者あり所轄永登浦警察署より係官及び醫師現場に急行死體を引揚げたるが情死者は京城府並木町八十一番地貸座敷業鉢方抱へ娼妓金花蓮（二〇）と龍山漢江通り百三十五番地高永福（二〇）なる事判明し死因は取方本町署に依賴したり死因は不義理の借金に首が廻らぬ樣になりし爲ならんと

電車に衝突

十九日午後二時頃光熙門行電車百七號が黃金町三丁目派出所前停留所に停車の際乘客百三十五號が車內にて切符を受取り居る中恰も乘合せたる龍山漢江通り百八番地光化門郵便局馬丁金丁鉉（三四）が發車信號を爲したる爲折柄乘車の途中にありし南大門通高姓女（二六）及朴某（二一）は該電車に衝突し高姓女は胸部に打撲傷を受け人事不省に陷り朴は右額及手に擦過傷を負ひたるより兩名は直に京城病院に伴れ込み應急手當を施したる結果高姓女は間も無く蘇生したり負傷は兩名共輕微なりと

驛賣値上げ
酒、サイダー類

今回驛構內立賣及列車內に於る日本酒、サイダー、ビール、シトロン等の値上を爲したるが從來より約一割乃至二割の割合なりと

食堂車廢止

京釜線夜行に限り　京管局にては冬季中京釜線夜行に限り食堂車の連絡を見合す事と爲りたるが其の實施期は十二月一日より三月末日迄なりと

自轉車泥棒

府內宮井洞金鎭完（一〇）は本年六月二十五日頃龍山漢江通り十八銀行出張所入口に立掛けありし岡崎町七十一番地雜貨商某方自轉車一臺（價格百圓）を竊取南大門外鮮人飲食店某方に隱匿し時機を見て西小門町五番地朴洪?（二〇）に賣却方を依賴し太平通り二丁目三百四十七番地渡邊吉方に賣却し朴洪來は周旋料五圓を受け取り居れる事此程に至り發覺して鍾路署に檢擧され取調の末金鎭完は竊盜罪朴洪來は贓物牙保にて十九日檢事局に送らる

築港の米泥棒
番人に發見押へらる

十一月十八日午後七時半仁川築港第二倉庫前に野積せる俵米の一俵を抜き出し擔車に負ふて立ち去らんとする鮮人あるを番人が發見し直ちに之れを取押へたるに犯人は仁川寺町三十一番地勞働者吳相雲（三七）と云ふ者にして去る大正七年十一月竊盜罪にて懲役九十に處せられ其後去る三月再び竊盜を働き懲役六箇月に處せられ漸く去る九月出獄したるのみにして三度目の竊盜を働きし常習犯人なる事判明身柄は十九日檢事局に送らる

郡廳員結束
增給を請願

京畿道振威郡廳では此程鮮人雇員廿餘名結束して增給され度き旨請願を呈出したりと

清進洞のボヤ

十九日午後六時頃清進洞四十六番地李某方より發火したれば各消防組に急報すると共に警官馳せ付け部民を指揮活動したる結果大事に至らず同二十分鎭火したるが原因は煖房の煙突漏出したるものなりと損害十五圓の見込

仁川の火事

十一月十九日夕仁川花町里鮮人某方より失火あり直ちに消防隊出動防火に努めたるが幸ひにして隣接家屋數軒をかりし爲め燒失一戶にして鎭火したり目下取調中なるが恐らく僅少に過ぎざるべく原因は當日風强かりし爲め或は煙草の火より發火せるものなりと想像さる（仁川）

竊盜

住所不定孫宗燮（一八）は本月一日午後十時頃花園町百七番地淺井太郎方に忍び入り同家座敷より米簏二俵（四十圓）を竊取逃走せしが本町署の手に逮捕され……

初雪
大邱地方

十八日より俄に氣溫降下し本年初めての寒さなりしが十九日午前五時三十分頃より降雪ありたり之本年に於ける初雪にして昨年に比し五日早く例年に比し十日早し（大邱電報）

宗祖御會式

旭町三丁目日蓮宗顯證寺に於ては宗祖日蓮大聖人の六百三十八回御會式報恩會を來る廿、廿一日の兩日に亘り嚴修し廿日午後七時より法要同八時より說教、廿一日午前より報恩法會午後一時より『一句萬了』木村布教師『宗祖の使命』『久遠の生命』渡邊布教師の講演ある筈

紹介

▲まる三記念寫眞　市內本町武千日向兒服店に於ては本冬を以て先代より記念五ケ年に相當するより記念の爲め廿一日より五日間何品にても內地値段にて提供し……

恐怖は過去の夢
ズック布一枚下は地獄でも
飛行中は眞に人生無上の快樂

飛行家は幸福
甘下瞰す景色の美しさよ!!

或る日、或る時、或る島で飛行將校伊島中尉と會飲した事があつた。盃の數が加はるに伴れ彼は飛行實驗談を試み、私の飛行熱を盛んに煽つた彼は……『實際君！飛行中の面白さつたら無いぜ、愈々揚がつてだね、機體を平衡し方向を定めて飛ぶ時なんざ全く爽快さ。例令ヅック布一枚下が地獄でも、其れを恐怖した時代はもう、疾くに過去の夢になつたね機會さへあれば何時でも乘つけて上げるよ、自動車だつて平坦な道を思ひ切り飛ばす時は愉快だらう、飛行機となると全くそれ以上だ、自動車だと時とすると小ッぽけな子供が飛出して來たり、或は腰の曲つた婆さんがヨチ〳〵道を橫切らうとしてハッとさせる事があるが、空中になると其麼危險千萬な事は一つだつてありやしない、鳥の方から逃げて避けて行つてしまう第一、空中には曲り角がないからね、全く君自由自在だよ、まして下瞰す景色は實に美しいと來た日にや堪らないぜ、然し何だ、飛行家は斯くの如くにして幸ひ也だらう

道を問ふにも
人がない空中の心細さ

併し時には心細い事がないでもない、或る年の秋、那須野の平原を超ね、福島に行き、福島から仙臺一の關方面に飛んだ事があつた。日は段々西に傾き下界は蒼然と暮かゝる、地圖を見やうにも、もう暗くつてどうも駄目だ、もう此邊だらうと思つたり、もう少し先きだらうと思つたり、頗る煩悶を極めたが、道を問ふにも人は無しよ、此時位弱つた事はないぜ、それでも辛うじて目的地に辿り付き、いや飛び著いた事があつたつけ。併し飛行中の愉快は何と云つても人生無上の快樂だね、愉快と云へば愉快の爲め餘り調子に乘り過ぎ失敗した事がある。聞いて呉れるかい、ぢゃ話さう。

灯頃

▲鴛稱貯金管理所の通信用狀袋には裏面を利用して標語を刷込んで居る▲『身を輕く稼いで重い貯金箱』『金になる腕を枕に貯蓄哉』『蟻は小さいが塔を築く』等却々面白いのがある▲蠅が總ての傳染病の媒介をする恐る可きものであるのは人が知つて居るが此頃になると餘りウルサクないので世人が捨て顧みないが▲蠅の撲滅には今が季だ羽根の弱つて居る奴を伐して了ふのはワケは無い▲捨て置くと盛んに卵を生み附ける幼蟲から蠅にかへつて來年はさ惱まされる▲國粹保存の意味で新橋藝妓は束髮全廢を決議し券番からの達しで日本髮を復活することにしたさうな但し琵琶妓は例外だとか

演藝

▲黃金館　廿一日より寫眞全部差替へ　泰西悲活劇炬火全四卷▲新派悲劇あけぼの全三卷▲舊劇大久保彥左衞門と忍術奴全五卷▲喜劇美人事失敗▲實寫エクレア週報　右の內『炬火』は伊太利アンブロジオ會社の特作品にして名優ゲニー嬢の出演に係り痛快の裡にも自然に淚を催さしむる好映畫なりと

▲大正館　二十一日晩よりの替り　實寫聖地降誕祭の實況▲喜劇奇妙なる音樂▲同婦人の惡戲▲滑稽活居酒屋の踊り娘全五卷▲新派悲劇『殘る花』全六卷

▲花館　明二十一日よりの替り興行は東京落語歌舞音曲……の花形橘　　次郞の大一座にて內地各地至る處に好評を博したる新顏のみにて若手人氣者揃ひなれば……

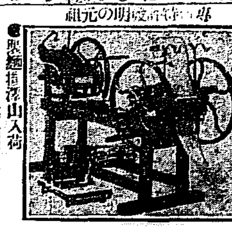
時計　貴金屬　指輪　眼鏡商
地方の御注文は代金引換にて送る

京城本町二丁目京城銀行前
三浦天龍堂
電話本局二〇二番　振替京城三〇四番

仁川本町　白神洋行
京城南大門外　白神洋行支店
洋鐵鋼、諸機械　工具附屬品一切
月刊物價表　御申越次第進呈
金物商
英國ジョナス會社製青鋼附

八角鋼　平板　鐵板
佐野彥金物店
鎖鑰品製造工場
京城本町一丁目　電話一六三番　振替京城一三〇番

麵機發明の經歷長くも天聽に達し發明者眞崎照鄉は藍綬褒章を下賜せらる
眞崎式製麵機械
專賣特許發明の元祖

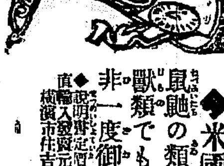


製麵機の新王

●製麵指澤山入荷　特許八谷式製麵機械
●製繩機特約店募集
製麵機、製粉機、精米機、製繩機其他諸機械製作
大阪本店　眞崎出張所　京城大和町二丁目　振替京城六二六七番
商標

軍隊拂下被服類
京城府北米倉町　電話一豈二番
村上商店
營業品目　一、軍隊拂下外套各種作業服、對襟茶ラシヤ服、防寒用被服、防寒靴、新品メリヤス、毛布、諸雜貨

御繁忙の時季が來ました
早速の御用命を願ひます
京城長谷川町
元祖紙函製造所
鼎商會
電話九一八番



◆米國製捕獸器◆
鼠鼬の類よりどんな大きな獸類でも容易に捕れます是非一度御試し願ます
◆說明書定價表は御一報次第進呈
直輸入發賣元　橫濱市住吉町一丁目（公園前）
吉川米次郞商店
振替東京一四二〇五番　電話本局一參一六番

謹啓　時下秋冷の候愈々御清穆奉賀候陳者御承知の通り我經濟界は大戰の好影響を受け國富大いに増進し財界稀有の膨脹を來したるは爲邦家慶賀の至りに不堪候而して斯の如き勢は今後數年間繼續すべく企業界の旺盛と共に株式市場にも勿論波及致し候間當方も此際に處し一意專心顧客の爲め御利用に應じ……諸賢の御厚澤を蒙り誠心努力致し候間何卒末永く御高庇の程伏して奉願候先は開店御披露に代へ御挨拶迄如此御座候　敬具

大正八年十一月
證券交換所組合員
公債株式現物問屋
東京市日本橋區蠣殼町一丁目四番地
合資會社　大倉屋商店
營業科目　▽現物部　△金融部　△信託部　△調査部
電話浪花三八七番……
大倉屋日報、營業案內其他御申越次第進呈可仕候

和荷着
岩田鞄店
京城本町二丁目（電話五九四番）

日本ベルト株式會社特製　品質本位
◎綿絲織ゴム合　ゴールデンベルト
軍人印　革ベルト　各種
綿上用木綿織ベルト　各種
其他附屬品
ゴールデンベルト主ナル御使用先
釜山精米工場各位
木浦精米工場各位
群山精米工場各位
仁川精米工場各位
鎭南浦精米工場各位
鴨綠江製材工場各位
以上御使用先ニテ幸ニ御愛用相願居候
大阪市東區今橋東詰
資本金六百萬圓
株式會社　內外信託商事
電話東長三一三七番……　振替口座大阪八〇四〇番
取扱店　仁川花町　岩崎商店

…劇場へ飾りがあつた
…ながら歌劇や獨唱で全米こいふ振り詰めた
「日本の舞臺に本當の歌劇をお見せに一座と共に開拓したい」つたここと思ひます、著々早々…新しく古來の…時こそは一座の方々こ共に日本へ立寄るここで家中で…これにつけても來る…頭朝りたいこいふ夫人の心根は言々句々に現れてゐる（東京）

…信太郎、中村吾□、西尾忠治、上野喜介、中村時吉、長島芳次郎、高任靜太郎、戶倉藤三、矢野菊松、田當三郎、西田太會一、成松まつ、同きみ、同健一郎、永木榮、間瀬同きつ、内八歳、島野末太郎、萬太郎（二等二八名）中島彩、柴三等二一五名

第五版

飛ぶ如に賣れる日本の綿絲布 獨逸品を驅逐す

日本の國産中生絲の年産額は約五億萬圓、もつと多きのは綿絲布の約八億萬圓と云ふ事であるが政府では暴利取締令により綿絲布商を一喝して脅し付けんとして見たけれども、其根本の調査を進めて見ると何ぞ計らん內地需要の激増と海外就中支那方面の需要が非常の勢ひを以て激增したと云ふ樣な關係で事實物資は缺乏を告げて居ると云ふ事が判明した相な、それは別問題として近頃滿洲方面の綿絲布の成行きは如何樣なものかと北村商店に就いて聞いて見ると

安東市場を中心

として綿絲布を取扱ふ店は日本人側で北村、三井、鈴木を主なるものとして外に直接日本より品を引く支那商人が一二あるが日本商店で本年一月から取引した數は北村商店が約一萬四、三井が一萬四、鈴木がズット下つて約二千四、三店合せて約二萬三千四以上であつて、之を昨年の輸入に比すれば約二倍半乃至三倍に相當する相である、一つは例の日貨排斥の聲が喧しく多少の影響はあつたかも知れないけれども、打擊と云ふ打擊を受けた事はないと云ふ

需要一時に激增

したる理由は何かと聞いて見ると第一は滿洲地方產物の價格が高くなつて購買力の增加したのが第一、隨つて商人又は農民に到る迄生活程度の向上したるが第二、殊に重大視すべき原因は銀價の暴騰に伴ない、金貨の下落に原因する、現在の金百圓は銀の約七十圓に相當するのであるから、銀三百圓であつた日本品は現在では二百十圓の相場であるから此の金銀の差で約九十圓方は安いものが買へる道理で隨つて需要の激增するのは已むを得ない事になる譯である又一つ

最大原因は獨逸

品が大戰前後に亘つて輸入杜絶した事がそれであつて、是に加へて日本の獨逸模造品の製織が非常に巧妙になりたるも一つの原因である、近頃日本內地から來る獨逸製の模造品は頗る精巧なもので模樣の織出し染色の具合は決して獨逸品に對して些の遜色を認めない、是れ聯ら大戰の庇護による日本綿布の一大進步であると云ふ事が出來る、今日滿洲に於ける綿絲布は殆んど日本品の獨占舞臺であつて何れも一指だに染しむる事が出來ない相である

日貨排斥の旺盛

なる山東地方就中濟南地方では某々國の或る者が黑幕となつて盛んに學生團を煽動して日本貨物の排斥を試みて居る爲日本の綿絲布は青島に揚陸するものは一切買はせない、買ばないから自と品物がない爲に一度青島に揚げしたものは他に輸送して山東線に依らず滿奉線に迂回さして獨逸品だ英米品だと云ふ具合に名稱を附して盛んに山東各地に販路を拓かれてある事は甚だ不思議の樣だけれども群衆心理を逆に利用する支那商人のエライ處は其處にある

安東縣を中心と

する各地方殊に鴨綠江の上下流に撒布せらるゝ外には安奉線を北上して更に奉天以北、長春方面まで北運するので北村商店の如きは一ヶ年百萬圓位の取引する事は屢々たるものであると云ふ事である、要するに南滿洲に於ける支那人の衣食住の中に衣丈けの日本品の獨占舞臺であることして見れば此の方面の加工事業なぞは將來甚だ多幸有望の事業ではあるまいかと思はれる（安東縣）

平壤の電鐵

今夏以來平壤成鐵業會社平壤電鐵の所技師長石阪信乃雄平壤商業會議所評議員內田錄雄氏等平壤市街電氣鐵道敷設事業を計畫し爾來平壤に於ける有力者六十餘名の賛成を得着々研究調査中なりしが最近該事業案成り來る廿二日午後四時旅亭武藏野に於て創立を開き該案を發表する由なり事業計畫に依れば名稱を平壤電氣鐵道株式會社とし資本總額を百五十萬圓とし一株五十圓四分の一拂込にて株式を三萬株と爲す計畫なるが起業方針は第一期線路第二期線路に分ち先づ第一期線路の建設を以て營業を開始し事業の基礎を築き順次堅實安全な發達を期すべしと創建築順序を擧ぐれば左の如し

（第一期線）本線及牡丹臺に至る延長は四哩四十鎖

江岸線 延設總豫算金五拾五萬圓 壹哩均十二萬二千二百圓（內譯）本線三哩二十鎖停車場を起點として本町及大和町を經て南門町に至り更に元山街道平壤神社を過ぎ箕子陵に至る線路、停車場より南門町一丁目入口迄複線一哩六十鎖、南門町一丁目入口より終點迄單線一哩四十鎖。

（江岸線）一哩二十鎖、本線南門町四丁目十字街より分岐右折して新倉里を經て江畔新道を沿ひ清流壁下大同江邊を過ぎ牡丹臺下に至る線路全部單線

（第二期線）山手線寺洞線及萬壽臺線 延長十哩〇鎖、延設總豫算金九十五萬圓一哩平均九萬五千圓なり（未完）

混保收容能力 約三十六萬餘噸

滿鐵大連埠頭にては大豆混合保管も愈々十二月一日より實施する事に決定したるを以て、之が準備に目下多忙を極め居れり其箇所は埠頭東部三十七、三十八、三十九、四十四、四十の五倉庫及び他一倉庫にて都合六倉庫と其の他は野積なり、而して右六倉庫の面積は合計一萬四千二百五十坪にして約十三萬噸の收容能力を有し、野積は東部第二野積所三千百八十三坪、同第三野積所四千六百六十五坪、同第四野積所七千二百十一坪、西部第三野積所一萬五千三十坪、合計三萬百餘坪約二十三萬噸の收容力あり

大豆混合保管に充當すべき面積は總計三萬四千二百餘坪にして其收容能力は約三十六萬餘噸なりと云ふ（大連）

無煙炭の將來

滿洲に於ける無煙炭の一箇年出炭は撫順の約十三萬噸、煙臺南滿鐵礦區外の約七萬噸、他牛心臺鐵礦區附近の約七萬噸を合して約五十萬噸、各地の出炭を合して大部分は支那人の爐に用ふる粉炭と土を混ぜて固めたる煉炭と稱する燃料に供給せらる、彼等の多年の習慣は爐の構造と共に深く無煙炭の特徴なる火力强からざるも長持ちして無煙なるを賞とせり然るに無煙炭生產の將來に就て見るに滿鐵煙臺採炭所は擴張せらるべきも其鑛山は亂掘の結果向後一ヶ年以上採掘不可能なりと而し撫順炭坑擴張が兩鐵道側に於ける何れも多くを望むべからず鐵相場の低落より馬車賃の下落を來せば或は撫順炭礦附近の小爐炭も市場に炭を出し得れど是又未知數のものなり斯くて新に炭坑出現するに非ざれば結局滿鐵煙臺採炭所が擴張して其數を補ふに非ざれば支那人は遂に爐の構造を根本より改めざる可らざるに至るべしと

大豆需要喚起

滿洲特產殊に豆粕が產地高のため取引比較的不振なるに係はらず朝鮮に於ける大豆作の影響を受け內地に於ける食料用大豆の需用は依然躍進し來れるを以て此の方面の需要に適する優等品は相當取引を見るべく若しこの狀勢にして將來持續さるゝに於ては滿洲大豆作の上に重大なる影響を及ぼすに至るべし又雜穀に於ても高粱が馬糧用として內地需要あるも食料としては殆ど云ふに足らず滿洲小豆の需要は大豆と同じく鮮不作の影響を受け活氣を呈すべきが如しと

警部の官服は 背廣服＝佩劍は服下に

江原道平康警察署にては來月一日より警部の官服改正中來月一日より施行さるゝ、警部の服裝は從來フロック式か背廣服に改め佩劍を服の下より帶ぶる事となり巡查の服裝は從來の儘なりと

凶歉に備ふる爲め備蓄

江原道平昌郡內各面は本年夏稀有の旱魃の爲め農作物被害頗る擴大にして收穫は平年以下ならむと一般に豫想し居たる處なるが果して收穫の結果當初豫想し居たる水稻すら平作にも達せず殊に山間部落にありては大麥粟等の雜穀は固より山菜に至る迄不作なり！爲め郡內住民は來るべき飢饉を豫想し目下山に樹の實を採取しつゝありと（春川）

修學旅行記 第七通信

京城中學校教員養成所 池田生

（金曜）十日　明くれば中都は雨である。金峰も雨霧に包まれて見る影ぬのも殘念である。出發に間がないので、そのまゝ去ることゝなつた。汽車は平野を走ること暫くで木曾山中に入る

山なき谷を渡りて我が汽車は木曾路に入れりと人は言ひけり。
稲三つさん良る七つ道に行けば木曾路の旅の美しきかな。
千紫萬紅みぎりちらほら變りて木曾の山々紅葉しにけり。
ましらのみ渡らんと思ふかけはしに紅葉散りゆく木曾の秋かな。
水は清う山美しき木曾路をば汽車の窓よりみるはさみし。
水に石人は寢覺の床と言ふ我も寢覺めてみしもおかしき。
駒ヶ岳御嶽はいづこと眺むれば木曾の山々霧こめてあり。

木曾川の後に淡い賤母の紅葉。よろこびと旅の悲しみとを催しながら行く內に汽車は三〇三三呎の高地贄原についた。此邊等は最う寒冷であつた。山を出でゝ盆地を行く。汽車は北へ北へと行く內に月は、ごつとり沈んで曇つた空はいつか晴れ美しい月が姨捨山の上に出た。これが名高い田毎の月と窓よりのぞく橫顏に月光の流れる風情も一入のおもむきである。そして寂寞し、細長い町を通つて澁湯館と云ふ宿に就いた。旅の疲れは又格別で其の夜はそのまゝ寢て仕舞つた。午前五時善光寺の『お勤め』に詣でた。死し人にあはせ給ふと聞けば父母をなくせし私は殊更に御佛のなつかしくそゞろ逝る人に、似つた人はあるまいかと眼を配り作ら歩いた。

一佛の前に跪まづいた私の態度を見て側に居た老人は苦笑にも似つかしくないと歎息の聲を洩して居た。太鼓の音に合圖せられて御開帳になれば燦光眼を射て尊き言ふ術もなく唯々頭の下がるのみ敢て仰ぎ見なかつた我が身の罪はこれに知れたこと贖がれ、ミラクル的のお勤めも私には信ぜられる程强は信仰の人であつた。午前九時二十分長野を出て汽車は東南へと走り川中島の古戰場も今に步作る一面の田畑。輕井澤の邊になると一面の落葉松は私等には春しき眺めをあたへる。これから所謂碓氷峠のアプト式で汽車は電氣によつて行き悄力によつて進み進行はずつこのろくトンネルのみ十幾つとなく打ちすぎる。こ邊は妙義の山續き全山紅葉で美しくやがて右に妙義あり左に赤城榛名の二山は突きして視界に入る。これが名に負ふ野州の三山と誰も誰も汽車の窓より眺めむものはなかつた。さうして居る內にいつか平野に出て高崎小山の乘替へを過ぎる頃はまぶしい夕日がさしこむ頃であつた。宇都宮で全く日は沈んだ。唯汽車の動搖に委せ山間の平野を辿りつゝ我等は日光へと走るのである。

商況

株式

東京株式

（二十日第一立會）

名柄	前場	前日比
東株	四一五、一〇	六、一〇高
同新	四二一、五〇	七、四〇高
鐘紡	一七六、九〇	三、一〇高
同新	一七一、四〇	、四〇高
一新	一四四、九〇	二、一〇高

大阪株式

（二十日後引 比較）

名柄	二十日後引	比較
大株	四一六、九〇	一、〇〇高
同新	四一八、〇〇	三、〇〇高
郵船	二四五、四〇	一、九〇高
同新	一四一、九〇	二、〇〇高
商船	一五六、九〇	三、四〇高
同新	一三八、九〇	一、〇〇高
鐘紡	三九七、九〇	四、一〇高
同新	三八〇、〇〇	三、七〇高
東紡	三二二、五〇	三、四〇高
東株	一六八、九〇	九〇高
堂米	一八八、〇〇	二、五〇高
上取		

京城現株

標準値段（▲印騰貴 △印下落）

名柄	標準値段	時價
仁取	三五・〇〇	▲一八二、〇〇
朝郵	三〇・〇〇	四二、〇〇
電興	二五・〇〇	一七、五〇
皮革	三二・〇〇	二五、五〇
東畜	二二・五〇	一六、〇〇
朝紡	二二・五〇	△四〇、〇〇
朝紙	二二・五〇	二七、〇〇
鮮銀	五〇・〇〇	五六、五〇
殖銀	三二・五〇	一八、〇〇
滿毛	三二・五〇	五二、〇〇
朝煙	四〇・〇〇	三二、五〇
鮮土	二二・五〇	一九、〇〇
東亞	二二・五〇	四四、〇〇
中鐵	二二・五〇	▲一五、五〇
殖鐵	二五・〇〇	一七、〇〇
朝日	二二・五〇	一三、五〇
安信	二二・五〇	三八、〇〇

出來高平均値

名柄	平均値	枚數
朝鮮紡織	四〇、〇〇	二一〇
殖産銀行	二五、〇〇	九〇〇
中央鐵新	一五、五〇	三〇〇
東亞煙草	一〇二、五〇	一五〇
滿蒙毛織	五三、〇〇	一〇〇
上海取引	一七八、〇〇	一三〇
朝日釀造	一三、五〇	一五〇
亞細亞煙草	一二、五〇	五〇
大株新	三九一、〇〇	三〇
東株新	三九〇、〇〇	一〇〇
滿鐵二新	一二六、五〇	四〇〇
川崎新	八七、〇〇	五〇〇
仁川取引	一八二、〇〇	四〇〇
東洋藥良	二八、五〇	八〇〇

東株引返す

東京株式は昨日銀利上げ發表に暴落したる今朝は忽ち急激なる引返しを演じ現物觀株四百卅圓新四百十二圓を唱へ其他の諸株一般に出直り模樣なり（東京特電）

大株も反撥

大阪株式市場も東京と同じく昨日銀利上の聲に一齊低落を演じたるが今朝寄付は反撥に大株十一圓高新二十二圓高船新三圓高郵船二圓高東紡新三圓高鐘紡新五十錢高と總て堅調を示し全利上げも人氣の甚く崩るゝ事なき效果なきものゝ如し

上取猛烈高

大阪現取引市場に於ける上取は十八日寄付十一圓のアト七十九圓九十七錢の高値に進み引跡更に八十一二圓處の商內あり續いて十九日後場は遂に二百圓相場を現せるが右は新たに十二圓拂込の必要ありて新たに以外直接の高値收說あり之れ以外直接の高値花取引開始に伴ふ市場擴張の原因としては上海高に連れ同地より五千枚の買注文入込みたる旁々從來の關係によりて其の傾向を招きたるのみならず一層此傾向を顯著ならしむべき機運となれる事を數へられ居る

れるが最近斯くの如き商況となりては素人筋徐々に手を引きたる人のみの戰ひとなりて鳥渡近寄り難き危險を生ぜりと

朝紡頭打ち 底意は堅し

朝鮮紡織は四十三圓を最高値として昨夜來前日へ押し、今朝三十七八圓處を唱へらるゝに至れるが安値は依然賣り振合ありて底意は崩れず一般の豐富しな尤る狀勢の手筋は見るを豪もの如しと特に就いては昨紙所報の如く强き新材料を開拓せる向き少なき除りに數の多きと且つは買手筋が東京大阪兩市場に誇り居れば何等かの確たる材料を買氣を立て取り斯く東西齊しく無しの見地より樂觀買を試むるもの絶えざるが如く兎も角今日迄當地より內地へ賣上げられたる數は五千に近き多數に上り居るより見れば强ち前途悲觀の要も無かるべきか

仁取ヂリ高

仁取株は今朝再び百八十二圓の取引ありたるが午後に至り買氣徐々加はりて早くも百八十四五圓見當を唱へらるゝに至り昨今の模樣にては前高値八十六圓を上廻るも茲兩三日內ならんと稱せらる

確實なる利殖法は株式投資なるを以て投資せらるゝ方は御用命の御方に御投資に依ては御相談に應す
京城南大門通二ノ三二
浦長商會
電話長 二七五七番 受信略號
仁川仲町二丁目 仁川支店
元山仲町三〇番 元山支店

殖銀行悶模樣

殖産銀行株は昨日本社入電百十四圓を報じ前日より三圓方の押目を見せたる爲め今朝は百十五圓見當を唱へられ前日商內に比し矢張り一二圓方氣弱きも手合せは依然旺盛を極め居れり同株は一時二十圓處迄行きたる揚句なれば此邊當分小刻み作ら下押しを續くべく機を見て安値は再び買上げらるゝに至らんかと云ふ

中央新株商內

鮮中央鐵道新株は十二圓五十錢に襲に額等千百餘倍に達したる鐵拂込みのもの十五圓五十錢にて取引行はれ三圓のプレミアムを附し居れり

北濱だより

目先の悲觀に過ぎて買方に肥利されたる相場は踏み退き頗る一段高となつて强弱の地位は轉倒した▲大取組悲觀の聲もこうなつては今更ながら金の力が總てを齎す…當限が無事に付しいよ\/軟派の恐怖心が强くなつて來たらしい▲鐘紡の高値が前の四百四十二圓で新が四百三十圓九十錢であつたから此奴を何處迄上廻るかによつて買方の運命は決まる譯▲輸出禁止の内容が買方の運命を決するのは言ふ迄もない…株式界では何でもイロ\/調節觀の聲が引立つように出來て居るのは人氣が引立つように出來て居るのは此際油斷のならぬ處かも知れぬ

米況

東京期米特電

二十日前場 當限寄付 四十三圓二十九錢　先限寄付 四十四圓〇五錢

二十日後場 寄付 四七、八九 高値 …… 安値 四八、三九

大阪期米特電

二十日前場 當限寄付 四十三圓四十六錢　先限寄付 四十三圓四十九錢（日後場）

二十日前場 寄付 四八、一〇 高値 四八、三九 安値 四八、二〇

神戸期米特電

二十日前場 寄付 …… 止め 四八、五〇（日後場）

仁川期米

二十日前場（押目買ひ）

昨日買方の手控へより甘先節の手詰め急ぐにて高値止めの安値止めを受けて今朝は西し折柄新甘大阪相場大正の氣配に天候續き大入氣人氣の殺到と當限は二十四圓八十錢に始め先限四十五圓十九錢と十錢方安く…の買物を消化し▲第一節 當中出來ざるも先九十六錢より〇一錢と上下し押目買ひ…

▲第二節 當中出來不申大阪後第八圓〇大錢と十一丁安を早耳▲第三節 二十五錢と寄付 前場買方の押目狙ひと阪地の寄高に買氣を促進し場面緊張の折柄大阪前止め四十八圓三十九錢を高値に二十錢と押目止めをせし因…

京都期米五十圓

京城神戸への入電によれば京都期米は五十圓の高値を現出し新記錄を作れり

市場雜觀

率直場の阪地高に牽制されて又復大阪電に跳込し前高値に顔合ひしたも〇五錢と安値に甘んじ跡大阪の際山尹⑤の押目買ひに〇五錢と安價に止まつたので今後の氣配に出る事なりき公定賣りに依つた上の鐵道に因り一高一低を繰返し正米の成行に因り肝心の正米は依然として手合は鈍く地情態や鮮米の將來を思考すれば例へ新米期と云へ弱氣の理想は不可能なるのみならず夫れ通りに順じて懐內農家の需要を唱へ主張する向あるで値段は…

	高値	安値
二十日 前場	四五、八〇	四五、七一
後場	四六、一〇	四五、八七

（公定相場）一節 四五、〇七 二節 四五、九九 三節 四六、〇〇 四節 四五、八七

當日出來高 廿七萬五千九百石 受渡 四十六圓九十八錢 先限 四十六圓十二錢

双方氣乘薄

產地正米は依然として强含の當中に對する賣物少く一般に手控の狀況を持續せられ…商內振はず此の形勢に牽制され…

場面は强硬

昨後場引後大阪の上止移りに今朝は人氣軟弱に傾き先限四十七圓八十八錢と三十丁の下放れに寄付きたるが人氣不況に陷りしれに押目は地場の買狙ひと買物一巡に頼り九十錢と反し…何となく電待ちの振合なり

京城正米市場

明米は依然强調なるも上げ足鈍りたる一面新米は末だ出廻り不引合ひにて…需要者は大に考慮を要するであらう…

下關米取引所仲買
桝谷米市
（電話取引）

在米激減す

本月十五日現在 京城在米高は鮮銀南大門支店、漢銀南大門支店及東大門支店、南部、京城精米所、朝鮮鐵道倉庫の各入庫米を合して玄米七千七百八十七叺、白米三千七百八十七叺の合計一萬千四百七十四叺にして之を前月末に比し六千〇五十一叺の激減を示せり其原因は新米の出廻は漸次農家の賣惜みに新期の出廻り減少と相場高の狀況なりしが爲め自然入庫米の消費を促がせし結果にして且つ手持精米筋は一般新規買附を手控へ成可自己持米を以つて當座を凌ぎ來りし關係上右調査以外の在米としては更に見るべきもの無く百千石以上の消費米を要する當地にあつては實に心細き次第と云ふべし然れども新米も小口ながら漸く出廻り始め漸次廻來增加の傾向なると內地を初め他への積出し不引合ひの折柄今後の需要の需給に付ては何等憂ふる虞なかるべし

粟頗る氣甘し

滿洲粟は値頃行悩への折柄本月中旬の在庫高は別項の如く八萬二千袋近くに增加せるのみならず來春一、二月頃迄の先約物又相當に結ばれつゝあるに實需の方面は其後漸次不振の狀態にあつて新米出廻り後の成行き案じ當に賣を一考是を一考すれば先高一途の思惑も何なるあらんと多少警戒の色も見へ始め今朝は左の相場の下落を誘はざらしも後底意は何となく買手からざる振合ひにて手合せは左の如く相當の高に上りしも市況は頗る小甘き成行きなり

古四十街現物四車十九圓▲新同二車二十一圓四十五錢▲新海城一、二月積二十三圓▲新錦州十二月渡し二十三圓▲新海城十一、一月積二十三圓三十錢

大豆四五十錢高

大豆は新龍山十二月渡し一車二十八圓新天安證券渡一車二十七圓六十錢の二口商內行はれたるのみなるが氣配甚だ好勢にて今朝は約四五十錢高見當を唱へられたり

京城在庫穀物

十一月十五日京城在庫穀物現在高左の通りにて其內粟は前月末に比し二萬二千八百餘袋大麥九千八百餘叺の激增せるに反し大豆は七千四百餘叺の減退を示す

▲大豆七三七一叺▲小豆二、八一七叺▲大麥二四、三八一叺▲小麥九、七七一叺▲胡麻四二一叺▲粟八、二七八袋▲蕎麥五〇〇叺▲荏子七六叺▲糯粟二一二叺▲高粱二七七一叺▲綠豆二一七叺▲雜穀一〇、二三一叺

仁川正米市場

產地は邪々當物現はれ始めたる振合ひなれば買人一般に見送り狀態となり今朝京城は人氣不引立ちにて幾分頭重の傾向を見るも安値は眼前の在米薄を見越めぬ應せず午前中は商內皆無なりしが見當として三等合格十四圓丁度新四十七圓六十錢處を唱へられたり

釜山正米市場

二十日の市場は大體變化なく新殼良四十八圓八九十錢より四十九圓所三等神力四十八圓二十錢見當にて三千叺出來大豆新二十八圓四十五錢所に堅く古物は十錢方引緩め二千五百叺出來したり（二十日釜山）

綿布は混沌

綿布輸出制限の決定說に氣迷ひ氣配を深めし當綿布市況は今朝更に混沌の狀態を示し賣買雙方共に見送りの成行き傍觀の外輕率に手を染め難き破目にありて自然相場の附著しき相場の下押しは見せざるも形勢は逐次惡化の傾きあり輸出禁止乃至移入稅撤廢等の內容如何により一相場を現出すべき形勢なり

演藝案內

日本活動寫眞會社代理店 櫻井町 大正館 電話八七三
二十日より特別大寫眞提供
◎宗教劇悲劇（寫眞劇）『淑女の悲劇』の前說
伊太利ケーザル會社大作 名優ヂイオ・ラフランチスカ・ベルチーニ嬢出演
悲劇 居酒屋の踊り娘 全五卷
伊太利の氣分を横溢して遂に亞米利加へ渡り父の希望を果さんとする二人の美しき悲劇と…
◎新派悲劇 殘る花 全六卷
長田幹彥先生原作山本一派出演
…
本町二丁目 壽館 電話一〇五〇
本月十五日より開演
七日目讀物 水戶黃門記
京山水月一行
◎一休問答 ◎伊賀の水月 ◎角力と町奴 ◎大村家の破邸
…
黃金町 黃金館 電話二六三七
大阪天然色活動寫眞株式會社特約代理店
二十日より特別大寫眞提供
新派 あけぼの染 全三卷
喜劇 火 全四卷
大阪蘆邊劇場出演名優久保田清一派
…
忍術奴 五卷
舊劇 大久保彥左衛門と…
浪花館
京城明治町 電話二六〇〇
…十八日より開演 落語特別大興行
▲浪花節 …
◎落語
橘家圓次郎
…
幽靈服 全五卷
…
新野崎村 全七卷
…
りん病
急性慢性を問はず一回の御用で…
林滅 …
ルーデサツク 特製品
十個 一圓…
鷄卵配達開始
京城本町一丁目五〇
守山鷄飼育所
電話五四〇二番

看板はフシノ工舍
サツポロビール專屬 工所京城本町三丁目 電話七三二一番
大木 耳鼻藥
小瓶 二十錢 中瓶 三十錢 大瓶 五十錢
全國到る所に取次ぎ販賣店あり
耳だれ・耳鳴 及び 耳鼻內の濕疹・鼻つまり 等總て耳鼻諸病に有効なり
本舖 東京市神田區大通り鍋町 大木合名會社（振替東京四八〇番）
大阪市東區淡路町一丁目（振替大阪七七九五番）

本場 みかん 產地特約大販賣
明太の子
靑果 海產 穀物 雜貨 貿易問屋
鱈、鯡、鰯、鯖其他海產物 みかんは本場の本町他品ト共ニ一手販賣 京城南米倉町市場
岩城商會
振替京城一〇〇六 電話八四二番
紀州有田郡箕島町 柑橘組合特約販賣部

島村博士證明
腦病良藥 健腦丸
KENNOGWAN
藥價改正謹告
腦病良藥健腦丸は效力本位を以て創製に原料精選に努め價格を低く…時局生活費不少…
改正藥價
五週分 金三十錢 十週分 金六十錢 二十週分 金一圓 四十週分 金一圓九十錢…
主効
◆腦充血 ◆腦膜炎 ◆神經痛 ◆逆上症 ◆卒中 ◆中風
◆耳鳴 ◆頭痛 ◆眩暈 ◆健忘症 ◆便秘 ◆不眠
特長
健腦丸を少量宛常用せば逆上を引下げ便通をよくし恐る可き腦充血を快治し、中風卒中を未發に防ぎ記憶力を增進するの特効あり。
全國海外の信用藥店に取次す
本舖 大阪市… 東京市… 丹平商會藥房

株式會社第一銀行京城支店
資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千六百貳拾萬圓
總預金 參億五千萬圓
京城本町一丁目 電話…
支配人 佐々木勇之助
頭取 竹村利三郎

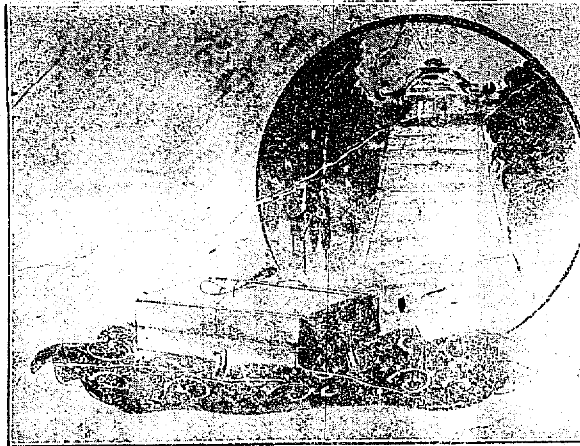
伊達騒動

小金井芦洲講演

第六十五席

供物の密計

伊達兵部眉を寄せて 伊『甲斐、其の密計を含めた者が行方を失つてしまふと云ふのは、愈々以て是れやア心配のことではないか』甲『イエ、ではございますが元々幼君のお命を謀めてしまひさへすれば其の心配は立所に消ゆることでございます』兵『夫れやアまア然うだが、其外に何か好い手段があるかな』甲『ハイ、誠に都合のことがございます』兵『フムー、なんだ』甲『本月十五日は例の通り相州鎌倉鶴ヶ岡八幡へお館御名代を御差立てになります』兵『フム』甲『先き〴〵より籤引きにて御代拜のお役を仰付かることになつて居ります、今年の



籤に當りましたのが渡邊金兵衛……』兵『オ、左樣か』甲『これこそ又こなき得難き好機會でございますから金兵衛に申付け八幡宮より下し賜はる御供物の中に豫て大庭家より配劑の三種を容れてこしてお命を縮め奉りませう』兵『巧く行くかな、どうも先頃から遣り損つてばかり居るやうぢやから餘程心付けんこな』甲『イエ、今度こそ細工は流々仕上を御覽じろ、萬事御安心の上手前にお任せ下さいまし』兵『何分共に相賴む』外のことは遣り損つても八幡宮の供物と言ふのですからお守役も安心をするだらうと思つた、さて八月十四日の晩となる、密に渡邊金兵衛を手許に呼出して甲『儕金兵衛』金『ハイ』甲『エ、明朝は其方鶴ヶ岡八幡へ御代拜……』金『左樣でお上屋敷正五つ時出で立ち、乘切りで鶴ヶ岡八幡へ御代拜をいたしまする、刻付けて即日歸府仕ります』甲『就ては神奈川の宿の小休み所に之れへ人を以て八幡宮のお供物を届け置くから其方が鎌倉から持歸つた品と摺替るやうに』金『ハイ』甲『豫て供物の雛形は取つて置き出來をいたして居る、摺替へた供物の中には毒が仕掛けたしてあるから鑑から勘定をして半目の菓子には毒が入つて居らぬ丁目には毒が入つてある、由つて幼君に參らせる時に其方毒の入つて居らぬ半目のを取つて毒味をいたし丁目のを取つて幼君に差上げれば無論これは仕損じることはなからう』金『夫れは日ッ張ッこでやる仕事、仕損じのあらう道理はございませぬ、況して八幡宮お供物こございますれば萬々安心をいたして居りませうから、委細承知を仕りました』總てのことを打合せて夜陰深更になつて金兵衛は立戻つて行く、明くれば八月の十五日、若館上總之助綱村公にお目通りをいたして御代拜の由を申上げ、お暇を戴いて朝の五ッ時供方を揃へて馬乘で芝口のお上屋敷を出で順路恙なく鎌倉鶴ヶ岡八幡へ參詣、別當所に暫時休息、やがてお供物を受け御神前に別當が祝詞を上げお札を戴きお供物を戴く、お刻附けですから何時に着いた何時に立つたこ言ふ時間表に別當の判を貰つて再び馬に乘つて戻つて參ります、神奈川の宿の小休み所まで來ると豫て原田甲斐が隱し合せた通りチャンこお菓子が届いて居ります、外の者の目に付かぬやうに巧に摺替へた、手品師も驚くやうな早業で……日一杯掛かつて芝口のお上屋敷へ立戻つて恙なく代參相濟んだ趣をお披露、お附の口からお供物を持參をして渡邊は付幼君の御前に罷り出でました、すると恰度時に所用があつて、松前鐵之助はお小屋へ退つて不在であつた、乳人の淺岡局、澤田の局、神の江、小村の局など云ふお女中ばかり、金兵衛は御殿の中で喜んだのは松前の居ないのは何よりだ、今日こそは甲斐の望みの叶ふ時こ供物を捧げて前に出る 淺岡こは由れは〳〵金兵衛お目通には申せ道路の所恙なく御代參相濟み八只今お歸り御大儀千萬に存じます』金『恐れ入ります、所の御神エ、お供物を御前に宜しく御披露を願ひたう存じます』こお札を第一に第二にお供へ物を差出しました、淺岡は改めて綱村公の傍に進み御供物の盆を捧つて御覽に入れること誠に恭しく上がつて居るものだからお年の行かない綱村公は『爺ア、美味ちやな』こ見惚れた。

外科 皮膚科專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二三五八番

牛乳 御用 岡野牧場 京城東四軒町 電話一〇六九番

人參王

京城本町壹丁目 電話一四八〇・一八七〇〇番 津村兄弟商會

ミルクチヨコレート

タオル 諸戸タオル洋一手販賣 京城若草町四〇 卸商 上月商店 電話一〇三五番 振替京城五三一番

●健腦丸定價改正 健腦丸は本舗丹平商會に品質本位を以て終始しつゝあるが今回定價改正を行ひ從來の十錢包二十錢包を廢し五回分三十錢より十週分七圓迄の各種と改めたりといふ

暦

十一月廿二日 （土曜日）（舊）十月朔日

▼一白▲善惡共に心配多き日也
▼二黑▲先方の聞なきを悔ゆる日なれど金錢上には益のある日
▼三碧▲金錢又は物質上に利益のある日誠實なれば引立あらん
▼四綠▲氣の變り易き日物ごこ七八分通りは叶へど全部は難し
▼五黄▲當なしの望みは水泡に歸すべし交際上に注意すべし
▼六白▲相談事は考へた上に引受くべし目下の事に苦勞ある日
▼八白▲思ひ通りにテキパキ物事の運ぶ日なれど妄推注意の事
▼九紫▲名の揚がる事ある日なれども空成張を爲さば却て不可

最上醤油 朝鮮仁川港 高杉醤油醸造場

神經强壯劑（最新陰萎特効藥）アフロンは老衰性及び神經衰弱から來る陰萎、早漏に顯著なる効果あるのみならず一面健胃強壯の効能あり 定價 二圓 一圓 全國藥店にあり 東京室町三丁目 泰昌製藥株式會社

嗚呼何して千古の鐵則を得たる……女工興樣細君に……福陽堂

日本性研究大家心理專門 堤玉香先生著
女と戀と
……詩であり花である『戀せよ』……人の心もなからまし……冷血無情共に……大理石像の如き……女性心理の研究家として有名なる堤玉香……

流行性の かぜねつに一番よくきく
キナピリン

略効
●キナピリンは感冒、流行性感冒、解熱（頭痛、インフルエンザ、リウマチス、間歇熱（マラリヤ）等に大効あり特に流行性感冒を豫防す
（定價十錢・廿錢・卅錢・五十錢・壹圓）
キナピリン服用者は……の御要求に由り……姉妹藥として
たんせき専門 リッシ を發行す効驗適確
大阪、東京 本舗 高橋盛大堂藥局
●到る處の藥店にて販賣す

ミツワ石鹸

■國産品を代表して品質最も優良なる模範的石鹸

◎ミツワ石鹸 大形一個金參拾錢 中形一個金貳拾參錢 小形一個金拾五錢 極小形一個金七錢
ミツワ石鹸は本邦人の皮膚毛髪の洗滌に最も適合し、刺戟を感ずる處なく、適度の溶解性を備へて、浴室に用ひて半途に溶け崩れる處がない三つの特徴を備へて、浴室用化粧用として衛生經濟に合致した理想的實用品であります。

◎赤箱ミツワ石鹸 定價一個金四拾錢 三個入金壹圓貳拾錢 半打入金貳圓四拾錢
優良無比なミツワ石鹸を基礎として製造したもので、それに特殊の芳香を加味しましたもので、使ひ心地は實に宜く、使用後は爽快の感が得られます。赤箱の包裝ですから、ミツワ赤箱こ云はれて、賞讃されてゐます。

◎徳用ミツワ芳香石鹸 定價一個 三十三錢 五十錢 ……
此石鹸もミツワ石鹸を基礎として品質は頗る優良で、諸部たる芳香料を加味した製品で、溶解頗る容易に、化粧用こしては最も適合してゐます、芳香は肌膚に殘つて心地よき理想的の化粧用石鹸であります。

◎ミツワ洗濯石鹸 定價金八錢 大形金拾五錢
從來の粗製品こは異つて、地質を傷めないで、除垢力は強く、絹布毛織物の洗濯に用ひて十分の効果を奏します。斯る完全な洗濯石鹸は、ミツワ洗濯石鹸以外にはありません、各家庭及び工場用として、唯一の理想的洗濯石鹸として推賞されてゐます。

■本邦人の嗜好に合致し洗滌に好適の理想的石鹸

ミツワ家庭藥 ◎ 肝油ドロツプス
東京市日本橋區橘町四丁目 丸見屋商店 振替東京七一〇番 營業部電話浪花三〇四八・四九・四五〇番

消化と毒けし 仁丹
二十世紀之上 西醫學博士御方劑 本舗 大阪 森下博藥房

今のむ仁丹

▼應接の時。。心身共に爽快
▼執務の時。。頭腦頗る明晰
▼劇動の時。。精力極て旺盛

金言
鋭敏なる頭腦こ勤勉なる手こを有する人は到る所に金貨あり（セシルローズ）

大阪商船汽船出帆

（仁川出帆）
△鎭南浦大阪行 金澤丸 十一月十五日正午出
釜山、大阪行 △大運丸 十一月十八日後四出 △三瓶山丸 十一月十六日後四出
（元山出帆）
浦鹽行 安平丸 十一月十九日後九時出
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 十一月廿五日後十二時
（大連出帆）
上海、基隆、打狗行 湖北丸 十一月 日前六時出 基隆丸 十一月廿四日前六時出
內地各港出帆ニ要す……
歐洲行 一年四回 北米行 毎月三回 南米行 一年四回 濠洲行 毎月一回……
外國航路……陸運取扱……船客御用命……
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二番二一〇番五五〇番
京城內國通運會社京城支店 電話……

共同汽船出帆

▲奏皇島行 第二共同丸 十一月 日正午出帆
▲靑島直行 第十一共同丸 十一月十八日後……
▲大連直行 第十二共同丸 十一月二十日……
……
仁川代理店 ……
元山代理店 ……
京城取次店 ……

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 浦潮、城津、元山經由
立神丸 十一月三十日……
▲浦汐行 大阪發、門司、釜山、元山、城津、淸津經由
平安丸 十一月廿七日元山發
平壤丸 十一月……
雄基丸 十一月廿五日……
▲元山雄基線 ……
穩城丸 十一月……
春日丸 十一月三十日……
▲大阪行 ……
▲關門行 ……
雄基丸 十一月……
京畿丸 十一月……
咸鏡丸 ……
▲濟州島行 ……
昌平丸 十一月廿七日釜山發
▲西海岸行 ……
慶興丸 十一月……
▲木浦行 ……
晋州丸 十一月廿八日仁川發
▲木浦行 仁川……
宗信丸 十一月……
▲大連青島行 ……
江原丸 十一月廿六日仁川發
本社 京城南大門通（電話長三三三）
釜山支店 元山出張所 木浦出張所……
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

京城日報　第五版

京城日報

物品輸出制限令

今般朝鮮總督府令第百八十號を以て、物品輸出取締に關する件を發布し、即日施行のこと爲りたること、昨紙に掲記せる通りなるが、該令は大正三年發布戰時中工業原料其他の輸出取締令を改正し、制限物品の範圍を縮小して、平時狀態に適應せしむると共に、新に綿織絲の一種を増加したるものにして、要するに中央政府が曩に農商務省令を以て、綿絲輸出制限を爲したると相俟ち、其の効力を保持せんとするものに過ぎずして、朝鮮地方に對して格段の影響を與ふるものにあらざるなり。

蓋し內地に於ける綿絲の輸出制限は、所謂物價調節の目的を以て實行されたるものにして、之がために一時市場の相場を七八十圓方崩落せしめたるが、吾人が當初より其の効果を氣遣ひたる通り、直に盛返して、目下七百圓以上の高値を維持しつゝある程なれば、將來當局に於いて一層制限を勵行し、猶加ふるに綿布の制限を以てせざる限りは、容易に制限の目的を達し能はざるべし、況して朝鮮に於いては從來綿絲輸出の行はれたる例なく、紡績工場の如きは、目下建設中に屬するものは之ありと雖も、輸出供給品としての生產は、目下の處絕無なるが故に、今回の發令ありと雖も、何等痛痒を感ずるもの之なきは冗語を要せず。但し內地に於ける綿絲輸出に嚴重なる制限を加へ、生產品の過剩に陷りたる場合には或は朝鮮を經由して、支那又は西伯利方面に輸出するものなきに非ざるべきも、是とても二重の關稅を負擔し、多額の運賃を支拂はざるべからざるが故に、大抵の値段にては引合ひ難かるべく、先づ以て右樣のことは實際に行はれざるものと推斷して差支なし。畢竟するに今回の制限令は此の大戰の趣旨は、戰時中の制限を寬和すると共に、綿絲に關して萬一の場合を豫想したるものに外ならずと信ず。然しながら物價調節は獨り內地に於いてのみ重要なる問題のみならず、朝鮮に在りても早晩實行せざるべからざる場合に逢着すべきを疑はず。將來中央政府にして更に幾種の輸出制限を實行する際に●ては、之と相應じて其の品目を增加するの要あるべし。唯內地と事情を異にする所に、朝鮮は要するに原料の供給地たる關係上、內地と全然同一の步調を取り難きものあるべし。吾人は當局に對して其の取捨選擇の宜しきを失はざらんことを切望し置くのみ。

生別死別

＝（不許無斷轉載）＝

服部硯月

第五一　奇蹟

兄の湯殿に行つた後、艶子は今配達した夕刊新聞を見ると思ひ出したやうに女中の春を呼んだ。

『お召しになりました？』と春は前垂で手を拭き〳〵襖の外に中腰に坐つた。

『あのね、湯殿へ行つてね、兄さんにね、今日の繪を描いた人が見ゑたから、早くお湯からお上がんなさいッて、云つて來て頂戴』

『左樣で御座いますか』お春は不思議さうに周圍を見廻して。

『誰方もお見ゑにはなつていらッしやらないぢや御座いませんか』

『好いからさう云つて來て頂戴、他の事を云つちや可厭よ』

『はい……』

お春は猶も不思議の思ひに、重い返辭をして立つて行つた。艶子は更に新聞を擴げる。兄は銘仙を着て大島紬の[illegible]綿の這入つた羽織を引掛け紐を結びながら應接間の方に行かうとする

『あら、兄さん、何所へお出蒐け？』

『何處にもゆくんぢやないがお客樣は？』

『おほほほ』

『何だ？、擔いだんだね』

『少々、さう直かあないでせう』

『可厭だぜ、折角湯に這入つて緩くり疲れを休めようとしてるのに、加之お客樣だと云ふから浴衣を怱々脫ぎかへたぢやないか』

『どうも相濟みません、併しね兄さん錦江女史と云ふ人が分かつたんですよ、だから早くお知らせ仕度いと思つて……』

『何？錦江女史が分かつた、どうして？』

兄の態度も何時か柔いで來た

『阿父樣が知らして下さつたのよ』

『馬鹿ッ、歿くなつた阿父樣を洒落の引合に出すもんぢやない、罰が當るぞ』

兄の力を籠めた言葉に、艶子の快活なのも稍慰められた。

『御免下さい、惡い積りで云つたんぢやないの、私、本統に父樣のお[illegible]ふいかこ[illegible]ふの、此[illegible]なさい』

艶子は[illegible]夕刊を兄の前に出した。見ると『景仙門下の俊才』との標題の下に次の記事が載つてゐる

現今四條派の泰斗として天下に比肩する者なき立花景仙畫伯の門下に女流天才畫家こそ現はれたれ。一時教科書事件の擾亂判事として令名を天下に唱道せられ後熊本に榮轉し不幸彼の地にて物故せし三浦亦之氏の遺子菊枝孃にして雅號を錦江女史と云ひ本年春高等女學校を卒業後景仙畫伯の門に入り研鑽中なるが本年僅かに十八歲の妙齡なるに拘はらず幼時よりの趣味は一層其妙技を發揮し幾多の先輩を凌ぎ妙技神に入るの槪あり畫伯も秘藏弟子として頗る熱心に指導しつゝあり寂寞たる現今の閨秀畫界は之に依りて幾多の光彩を放つべく來春の展覽會には其の大作を發表すべく目下苦心中なりと

兄は默讀し了つた。

『成る程お前の云ふ通り、阿父さんのお引合せかも知れん、阿父さんが三浦判事と井上老探偵とに對し、已に代つて恩を報じて呉れと言ひ遺されたが、消息を得なかつた、熊本に榮轉された事は承知してゐて、今も其儘勤めらるゝ事とのみ思つてゐた、可愛相に歿くなられたか』

兄も他人事ならず悵然として

『でもあんなお孃さんが殘つてゐられたら結構だわ』

『夫れや本人やお母さんには結構かも知れんが、其成長をも見られない三浦さんには……』

『妾、何だか菊枝さんと云ふ方にお目にかゝり度いわ、お訪ねしちやァいけなくつて？』

『行つたつて、構はないが、お目にかゝつて口上が云へるかい、先方は才媛、此方は赤ん坊だからな』

『あら非道いわ、蹈ねてらッしやい』

艶子は鞘しい瞳を上げて兄を優しく睨んだ、戶外は歲取の忙しい往來に年の暮の慌たゞしさを感じるが、睦まじい兄妹の棲むこの家計にはもう春が溢れてゐた。

新春藝苑　投稿募集

▲漢詩『賦得田家早梅』（不限韻）
▲短歌『初春雜詠』（一人十首迄）
▲俳句『初化粧』（一人二句迄）
▲鐵筆『隨意』一人二顆以内

（注意）締切十二月十五日、鐵筆を除く外用紙半紙型、鐵筆は實物を要し印影は取らず、京城日報社編輯局新春藝苑宛送附の事、鐵筆の返附を要する人は郵券を添へられ度し

本紙定價　一箇月金四拾五錢　▲郵稅金拾五錢（以下不鮮明）
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號長六千九番　振替京城三〇〇番

第五版　…佛國政界は未曾有…十一月十六日…ソー氏はこれを…（不鮮明）

簿記通信教授
男女生徒募集　本科卒業生は責任紹介就職せしむ
自宅獨習部　本邦唯一
大阪市天神橋筋二丁目六一九　簿記會計學館
規則見本（不鮮明）

萬年筆ペン修理と販賣
京城本町　振替　ウツボヤ書店

編輯總裁　大隈侯爵　◎　執筆者　當代之專門大家五百五十名

日本百科大辭典

三省堂發行

日本出版界空前の大著にして明治・大正の文明を代表すべき本邦唯一の百科辭典成る

◎茲に本辭典の**絕版**を宣言するに當り僅かに一千部を限り最終の特價頒布を提供す

◎完成記念特價　金百五十圓
全十卷索引付　定價金百八拾圓

本書之內容
總紙數四六倍版　一萬五千頁
登載語數六萬有餘
說明項目約十五萬
挿入繪畫七百餘枚
本文說明圖　約一萬六千

◎內容見本及配本規定　御申込次第進呈

◎申込所　東京牛込新小川町二ノ四　日本百科大辭典普及會　振替東京三五〇〇〇　電話番町四六七五番

全十卷揃一千部限　特價提供

東京帝國大學教授 工學博士　伊東忠太先生
東京朝日新聞記者　杉村廣太郎先生
合著

藝術的　大戰紀念　諷刺畫

阿修羅帖

本版刷數十度極彩色善美を極め現代名士の賛・評五百題を收む

一、普通豫約（分冊拂）並製金四拾圓也申込金八圓　上製金九拾圓也申込金拾八圓
二、特價豫約（一時拂）並製參拾五圓　上製七拾五圓　御申込と同時全額拂込む事

豫約本日〆切

滿鮮一手豫約申込所　大連、旅順、奉天　京城、釜山、平壤　大阪屋號書店

東京神田區錦町一丁目　國粹出版社　電話神田一九八六・三三四八番　振替東京四八六一五番

新案獨學　ポケット形

鮮語自在

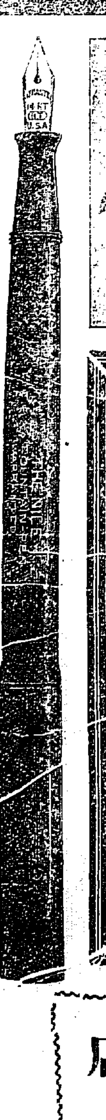
定價金六十錢　ポケット形二百頁（送料貳錢）
上製クロース　定價金八十錢（送料四錢）
發賣元　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

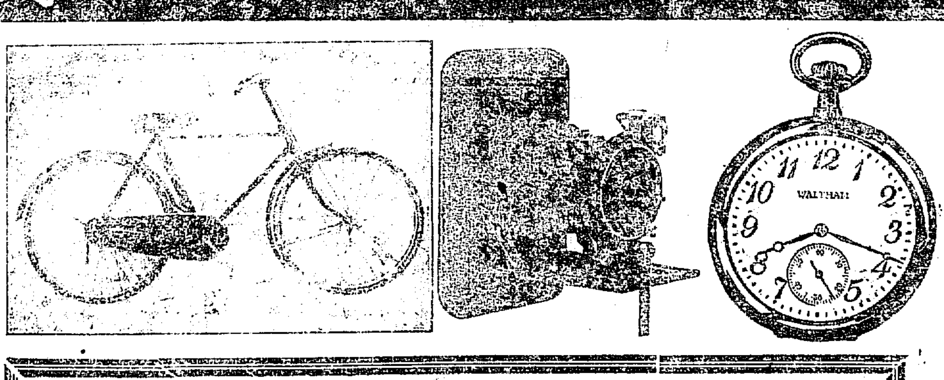
刑事專門　辯護士　本木房吉
京城府黃金町三丁目三十番地（大阪ドラック東側小路入ル）　電話長一四一三番

天下の銘酒
博多取引所仲買人　首藤定商店　電話長二三二五・二八八六番
發賣元　首藤京城支店　電話一七二番
首藤釜山支店　電話二四三番
首藤博多支店　電話八八番

興味多き福引景品進呈大賣出し

拾一月拾七日より全月二十九日迄





大戰終了後の我國は文物更新して朝鮮に於ても各般之事業盛觀を呈し生活狀態向上しつゝ有之に際し弊店は江湖之御要求に副ひ奉る可く此に興味多き福引景品券付大賣出を擧行仕店頭に陳列して御撰擇に供すべき品は例之如中外の最優良品を蒐めたる時計寶玉石貴金屬裝身具銀器銅器萬年ペン類寫眞器械及材料一式自轉車及附屬品一切に有之候特に御贈答用に御便宜なる商品券調製可仕候何卒陸續御來觀御用命之程奉希上候

今回大賣出し中弊店商品御買求の御方には左記割合を以て福引景品券進呈仕候（小賣に限）

第一等　御購求額の百分ノ四十即百圓ニ付　**四拾圓券**
第二等　同二十百圓ニ付　**貳拾圓券**
第三等　同十百圓ニ付　**拾圓券**

▲第四等御購求額百分五即ち百圓に付五圓券▲第五等御購求額百分ノ三即ち三圓券▲第六等御購求額之百分ノ二、即ち二圓券

但し右之總合は第一等拾枚第二等拾五枚第三等貳拾枚第四等貳拾五枚第五等貳百八拾枚第六等六百五拾枚合計一千枚カラクジナシ

以上福引景品券は第一等より第六等迄何れも封入してあるか誰れも知らず御取り上げの上封を切て始めて其の何等が當るかを知り得るなり

右購求金額の多少に不拘進呈仕候は勿論百圓以上となる時は百圓毎に壹枚進呈仕候

各地方華客樣よりの御注文は郵便日附に依り賣出し期間中前記之福引券進呈仕候福引券は當方にて店員三名以上立合開封し記載之等級に依り其の金額に該當する景品券を御贈呈仕候

拾一月拾七日より全月二十九日迄

株式會社　**大澤商會**　京城支店
京城本町一丁目
電話時計部二六二・寫眞部三三九番・自轉車部四八〇番・振替京城二三一番

山東直接交渉說

上海新聞に達したる北京電報に依れば日本公使館にては外交總長陸徴祥氏の歸國を待たずして日本は先づ山東より日本軍隊の撤退を聲明し直接交渉を開始すべしとの意向を洩らせりと（上海電報）

支那委員提議

支那委員は聯合國最高會議に對し支那に於ける列國勢力範圍及び駐屯兵撤廢領事裁判の廢止租借地の返還等の諸案を提議したり（巴里電報）

滿洲除外反對

新借款團は日本の滿蒙除外案に對し蒙古はこれを認むるも滿洲の除外を認むる能はずと言明せり（巴里電報）

日本單獨行動乎

英米佛三國滿蒙除外反對

新借款團組織に關し米國は日本の滿蒙除外主張に反對し英佛は右反對の意志を我國に致せりと又或方面者の情報によれば若し日本にして之に同意を與へざるに於ては英佛米三國のみにて新借款團を組織し日本を除外すべく決せりと其筋には未だ斯る報なしとの事なるが目下支那財政の窮乏殊も甚だしく其の結果米國は煙酒借款を英國は飛行機借款を成立せしむる事等全く各國單獨に行動するが如き傾向を來せるが各國にして依然其の態度を續くるに於ては日本も單獨行動を採るに至るべし又我國を除外する新借款團の實現は目下疑問なるも若し該團體成立するものとすれば日本は一旦滿蒙除外を聲明したる以上米國の脅威を以て其儘同意し直ちに妥協的態度に出づるが如きことなかるべしと觀測せられつゝあり（東京電報）

米國常備軍決定

米國常備軍は結局卅萬に決定せり（華盛頓電報）

討議制限可決

米國上院は討議制限の動議を可決せり（華盛頓電報）

ロッヂ案對戰か

米國政府はロッヂ氏案に對戰するに決せりと傳へらる（華盛頓電報）

ダ氏政府軍衝突

伊太利政府の軍隊はダヌンチオ氏の部隊と衝突し數名の死傷者を出せりダヌンチオ氏は伊太利政府の態度に對し不平を抱き居れりと傳へらる（ベルグラード電報）

キエフ撤退命令

デニキン將軍はキエフ撤退命令を發せり（倫敦電報）

セミヨノフ新司令官

セミヨノフ將軍は齊々哈爾軍管區司令官に任ぜられたり（浦鹽電報）

兩督軍歸任

孫烈臣鮑貴卿吉林兩督軍は十九日夜奉天に歸任せり（奉天特電）

戰死者追悼會

張作霖氏は戰歿將士の追悼會を二十一日より一週間擧行す可し（奉天特電）

安東信託開業期

株價再び擡頭

安東信託公所は十八日登記を了せる爲め仲買人の決定次第營業を開始する筈なるが多分廿五日か遲くも十二月一日頃より營業開始す可し一時三十五六圓に下押したる同株は昨今再び擡頭し來り四十圓內外にて取引行はれ居れり（安東縣特電）

滿洲錢莊株割當

滿洲錢莊會館株式會社の賛成人株は約九千の豫定なりしが人氣沸騰したる爲め約七倍三萬五千に達する盛況を呈せり二十日夜に二十日創立總會を開く可し權利株の賣買三圓方を稱へつゝあり（安東縣特電）

熊本宮御着鮮

（の）宮殿下と共に御嵐ホテルにて入）度、安州……十日午後一時半着し（平壤）……

奉天地價昂騰

奉天滿鐵附屬地の貸下地は殆ど皆無となりし爲め土地熱愈々旺盛となり目貫の所は坪二百圓以上となれり（奉天特電）

橫濱正金利上

橫濱正金銀行は二厘乃至三厘の利子引上を爲し二十日より實施す可し（東京電報）

森鐵進捗

公募來月一日より
津田鍛雄氏談

資本金二千萬圓の朝鮮森林鐵道會社創立事務の進捗に關し發起人會出席のため東上中なりし津田鍛雄氏は二十日歸城したるが其の談によれば森林鐵道の公募株數は三萬株にして來る二十五日頃より新聞紙に公告し來月一日より一般の申込みを受け明年一月十日第一回拂込を徴しその創立總會は二月五日の豫定にて尙ほ森林鐵道と姉妹會社たるべく製紙製材を目的とする朝鮮興業株式會社は森鐵の創立後總督府の許可を得て會社創立の進行を期する事となりたり

棉成育狀況

大正八年棉作付反別及び栽培人員並に發芽後の生育狀況を見るに作付反別（發芽反別を示す）は陸棉十萬九千五百六十六町歩在來棉三萬百九町歩合計十三萬九千六百七十五町歩にして之が栽培人員は陸棉五十八萬四千七百四十六人在來棉二十三萬九千八百四十人計八十二萬五百八十六人なり而して發芽後の生育狀況は全北全南慶南黃海の各一部に若干の旱魃害ありたるも一般に生育良好なりと

自重警戒の時機

美濃部鮮銀總裁談

戰後物價の低落を期待し得ざるは余の豫て言明せし所なるが今や歐米各交戰國を始め世界を通じて物資缺乏の聲盛んなり果して然らば之を救濟する

方法如何

一部の論者は或は兌換券を收縮すべしと云ひ或は物價を制限すべしと云ひ其他輸出の制限禁止等種々の說なきにあらざるも其之を實行するは決して容易ならざるなり今日の如く物價騰貴の疾患が財界全體に浸潤せるに當り姑息の方策は到底其の根治を望む能はざるなり

多數壯丁

は戰爭に出で消費を增進し加ふるに戰時大膨脹を來せる兌換券は戰後俄に收縮すべくもあらず斯の如くにして物價の騰貴を見るは已むを得ざるなり我國の物價は最近特に騰貴の勢ひを高め其騰貴率に於て歐米を凌駕し國民生活は爲に脅威せられ一部の民衆をして生活の安定を得ざらしむ斯る物價の騰貴に依り最初に利益を占むるは生產業者にして消費者は常に不利の地位に立つを通則とす我國に於て全國民の六割を占め居る者は農家なるが是等の農家は生產品の高價に依り何れも相當の收入を得又勞働者は其需要の增加に依り比較的に收入を增加せり之れ社會の中堅たる

智識階級

は日に生計の壓迫を感じ彼等の精神信念に動搖を來さんとせるは最も痛心の至りなり更に地方農家の好況は村の發達向上を促す所以なるを以て此點に於て悅ぶべきが如きも物價の騰貴に依り偶然に巨額の浮利を得るは却つて彼等に投機心を醸成せしむる原因となり今や農村に株式熱の沸騰する傾向あるは憂ふべし是迄純朴の生活を營み我國民性の最も多くを有する農民が奢侈淫逸の風に流れ遂に其美風を失墜するに至らんか實に我國民性の動搖を免れざるなり卽ち現時財界の好況は戰後過渡期の變態的現象にして其際の極まる所遂に極端なる反動時期を招來し復收拾すべからざるに至ることなしとせず然らば卽ち財界に橫たはれる時弊を見るに

其の大勢

の赴く所に稽へて現時の如く財界各方面に非常の恩澤を施し以て人心の攪亂に努めんと欲する懸念ありとすれば甚て現時の如き勢ひを高め其騰貴率に於て斯る政策を顧みざる斷乎たる政策を確立し其の遂行を期せしむるは困難なり果して然らば今後の財界は自然的に常調に復するの時期を待つ外他に良策なからん而も財界の常軌に復する過渡期に於ける反動の禍は財界現時に好況に對比して一層慘憺たるものあるを覺悟せざるべからず而して

世界大勢

に逆行して徒らに物價騰貴の勢ひを激成するは最も事業家の戒を要する所なり苟くも先見の明あるものは今より充分の準備を整へ將來に處する財界の狂瀾を破り終局の勝を奏するに決して逡巡なきを期せざるべからず（東京）

このとき歐洲諸國民の覺醒は海外に用を試みつゝあり朝鮮が於ても將來に處する……斯る景氣の如きは……

他店に赴き

たるに同じく高價なるに驚きつゝ其の如何を問ひたるに現在の價格は英國の一士官が知る仕入れ其の後は……

是迄缺乏

を感じたる物資は遂に供給潤澤なるべき改革の曙光は……

年々不足額

……

明治四二年	五六、一三八（噸）
同　四三年	七八、四五三
同　四四年	一二一、三〇四
大正元年	一二二、八七〇
同　二年	一二七、九八九
同　三年	一八三、二六二
同　四年	二三九、一二一
同　五年	一九一、三二七
同　六年	一九六、一五二
同　七年	三一四、九一三
同　八年	三八八、八三六

卽ち過去十一ヶ年に於ける輸入高の増加は五十倍乃至七倍……

石炭の欠乏

に苦しむ……

炭價調節策未定

調査終了後具體的決定を見ん
川崎鑛務課長談

朝鮮に於ける木炭の需給關係は既報の如く當局の努力に依り調節の實績を見たるが石炭は本春滿鐵の供給大削減に依り影響を受けつゝあり右に就き川崎總督府鑛務課長は曰く朝鮮に於ける石炭消費量は

產業の勃興

と共に比年著しき增加を示しつゝあり此の需要高に對し供給の多寡は直ちに產業の盛衰に關係する處多大にして產業政策上より見て供給を豐富にすべきは論を俟たざる處なりとす今統計の示す處に依り朝鮮の石炭消費率を見に

明治四二年	一三五、一〇九（噸）
同　四三年	一三六、〇五六
同　四四年	二六九、八三〇
大正元年	三四八、〇五七
同　二年	四〇八、四七九
同　三年	四一八、四四八
同　四年	四四六、七一三
同　五年	四七〇、九五八
同　六年	六八九、八七九
同　七年	九四五、四四八
同　八年込見	一、三三〇、〇〇〇

これに依りて觀れば大正六年以前にありては毎年約一割、五年目毎に二倍乃至三倍となり又た近二三ヶ年に於ては毎年約四割の增加を示せり故に將來に於ても既往に於けると同様なる比率を持續するものと見做せば、あり

ガイダ軍敗北

浦鹽騷擾一段落

浦鹽に於けるロザノフ、ガイダ兩軍の衝突に關し各國代表武官は是れを以て內政上の騷擾と見做し聯合軍は是れに對し不干渉の方針を執り唯だ其の行動を現在の區域外に擴大せしめざるため監視することに決せり尙戰況はロザノフ軍有利に展開し十七日日沒と共にガイダ側の敗北を以て戰闘終熄を告げたり此の結果ガイダ將軍はロザノフ軍司令部に捕へられ茲に一時浦鹽を動搖せしめたる本事件も一段落を告るに至れり（浦鹽電報）

ダヌンチオ軍

ダルマチヤ沿岸支配

ダルマチヤ沿岸に上陸せるダヌンチオ軍は今や全ダルマチヤ沿岸を支配しつゝあり（シドニー電報）

朝鮮懇話會

東京に組織

最近朝鮮に於て勃興したる私設鐵道會社九社の主立ちたるものにより東京に於て朝鮮私設鐵道協議會なる團體を組織して之れを帝國ホテル內に置く事となりその第一回の會合を十一月七日に又第二回を十五日帝國ホテルに開催し目下眼前に私鐵にとりて緊急重要の問題あるにつき一致の行動をとる事に申合せたるがその總會は今後春秋二回開催する筈なるが尙ほ津田鍛雄氏の發議にて朝鮮中央鐵道の三社が幹事として朝鮮に關する事業を行ふべく幹事として鐵道の事業を……なりと

大阪在庫鮮米

十一月十日現在大阪市內六大倉庫の在米高は內外米合計二十四萬七千石にして之れを前月乃ち十月末に比し二萬七千石の減少を示せり內朝鮮米は玄米四萬四千八百石白米三千六百石也と

郡守未墾地視察

去る十七日より開會中なりし京畿道府尹郡守會議は十九日會議を中止し郡守一同は二十日午前總督府第一部長會兼官に伴なはれ金浦に於ける長岡農場の未墾地開拓現狀を視察したるが二十一日にて同會議を終了すべしと

出張命令（十八日附）

總督府技師　鈴木哲郎
農業狀況調査の爲往復五十八日間の豫定を以て滿洲及直隸省へ出張を命す

同　佐藤修二
蠶業調査の爲往復三十日間の豫定を以て山東省へ出張を命す

總督府事務官　鐘江眞六郞
業調査の爲往復六十一日間の豫定を以て西伯利及滿洲へ出張を命す

同　田尻生五
往復六十一日間の豫定を以て西伯利へ出張を命す

總督府技師　名倉
業狀況視察の爲往復九十日間の豫定を以て西伯利及支那へ出張を命す

人事消息

▲上井千代三氏（東拓本社金融課長）廿日入城不在へ
▲橋田升吉氏（東拓木浦支店）入城同上
▲美濃部鮮銀總裁　廿日午後五時東京發二十二日午后七時五十分南大門着豫定列車にて歸城すべし
▲京城工業專門學校鑛山科三年生は實地研究の爲め小岩井教授引率の下に同日夜南大門發平壤方面に向ふ
▲水谷平壤鑛務所長　十九日附を以て事務打合の爲出府を命ぜらる
▲李家平壤府尹　二十日午後一時釜山發にて上京（平壤特電）

檢査打合會

二十二日の兩日水原に於て穀物檢査打合會を開催し左記事項を協議すべし
（一）檢査防止方法（二）檢査方法の改善（三）原料不足に對する組合の措置（四）米穀大豆檢査の連絡（五）瓜產奬勵法

鐵道病院移轉

今夏六月以來新築工事中なりし龍山鐵道病院は愈々竣工を告げたるを以て二十日移轉し午後三時より落成式を擧行したり

米總領事着任

米國總領事ミラー氏は家族同伴廿一日着任すべく前總領事ベルグホーツ氏は來る二十四日出發新任地廣東に向ふべしと

鳥瞰錄

▲オムスク政府も愈々敗退と云ふ電報が這入つた僕だ▲オムスク軍の振はないのは將校が勝手に戰線から後方に歸るのが多いと云ふにあるらしい▲其處で最近後方司令部は命令を出して……▲此の有樣ではまあオムスク軍に勝目はない▲他人の猫額の金塊は何うなつたか……▲僕は七日間で世界一周が出來る……『飛行時代』の主筆フェリックス君の說……▲エルン君が八十日で世界一周を計畫した時▲世上の科學者は彼れを狂人扱ひにしたものだ▲而もヴェルン君今頃は其れ見ろ何んなもんだいと鼻をぴこつかして居よう

東京期米特電

東京株式特電

大阪株式

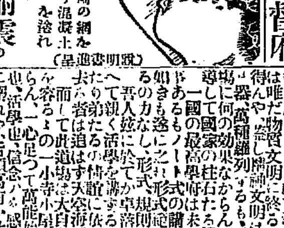
下關期米特電

仁川期米

土地入札拂下

京畿道京城府漢江通十一番地所在國有地二千七百坪
右賣拂ノ件本年十一月二十一日附朝鮮總督府官報ニ公告セリ
大正八年十一月二十一日
朝鮮總督府

鐵網混凝土



早く安く耐火耐震の家が出來る
川崎工場　東京芝區田町驛前
（說明書進呈）

株式紛失廣告

當社株式內號自第八三號至第八五號
定款第拾貳條により右名義書換を停止す
大正八年十一月廿日
朝鮮土地經營株式會社

織物表裝廣告

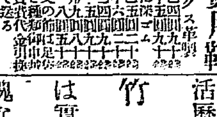
……
京城太平通　京城日報代理部　振替京城一〇〇番

最新刊

月給生活者の副業
……
京城太平通　京城日報代理部　振替京城一〇〇番

京城本町一丁目　大阪屋號

丈夫で安い實用靴



東京牛込　ツブク靴店　振替東京四一八八四番

國士館學生募集

設立趣旨

物質文明の弊日に甚だしく、人は唯だ科學智識を重んじて、德性涵養を忘る今日に於て……

入學資格　中等教育程度卒業者
試驗期日　來る十一月卅日（日曜）
試驗場所　市外世田ケ谷國士館內　但し遠隔地の希望者には論文試驗の便法あり
入學期日　來る十二月一日
規則書　申込次第直に送呈

東京市外世田ケ谷松陰神社畔　國士館

TAKA-DIASTASE

高峰博士發見
タカヂアスターゼ

胃腸疾患に必要缺くべからざる
本品は本邦人に最も多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸疾患に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り賞用せらる
內外醫學者の實驗報告書あり無代贈呈す
東京室町、大阪平野町東詰
三共株式會社

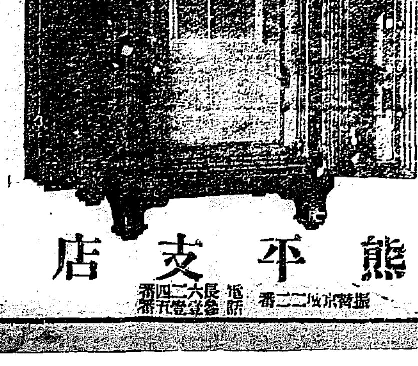
拜啓各位益々御淸昌之段奉賀候陳者弊商會儀從來一方ならず御眷顧を蒙り以御蔭日增に隆盛に趣き候段難有奉銘謝候然る處今回業務擴張の爲め株式會社共進商會を組織し弊商會の業務一切及權利義務を讓渡致候に付ては倍舊の御愛顧賜り度奉懇願候右御披露旁々御願申上度如斯に御座候　敬具
大正八年十一月十六日
綿糸、綿布　糖粉、洋反物　諸雜貨
共進商會　主任　金興植

拜啓各位益々御淸適之段奉賀候陳者今般弊社儀に於て從來共進商會の業務一切及權利義務を繼承仕候間何卒倍舊の御引立被成下度御願申上候　敬具
大正八年十一月十六日
京城太平通二丁目二〇七番地
綿糸、綿布　糖粉、洋反物　諸雜貨
株式會社　共進商會　取締役社長　金興植

東京竹內製ベント金庫

弗箱と稱せられし時代より苦心研究せられたる活歷史を有する竹內金庫は實に信用の凝塊なり

カタログ進呈



京城　熊平支店　振替京城二二二番　電話長六二四番

國境横斷旅行（五五）

茂山鎭にて　特派員　伊藤韓堂

惠山鎭と其の附近

弗々會社も新設され 電燈會社も目論見中 人口が三千近く成つた

興味ある陸と河との運輸競爭　內地人の戶口增加率は順調だ

惠山鎭の最近の戶口は▲內地人百五八戶、四百六十一名▲朝鮮人三百二十三戶、一千九百十七名▲支那人二十六戶、七十八名▲合計五百六戶、二千四百四十八名で此の外に四百名の內地人筏夫が五月の初め頃から九月の末又は十月の初めまで滯在して山元又は下流への流筏に從事して居る。內地人は年々增加しつゝあるが五年末三百一名六年末三百十五名七年末三百八十名八年六月末に於て四百六十一名に達し其の增率が誠に順調である。總人口が三千近くに成つたので當地有志間には

電燈會社設立

の計畫があつて其の燃料は不用木材を以て之に充て電燈一千六百燈を供給する目論見である。又木材商有志の組合組織に成つて居る雜貨商の大正商會では咸興當地間に貨物自動車運輸の計畫があり、過般總督府から設立認可の指令に接した今西利八氏等の朝鮮燒酎會社も目下設立進行中であつて、此地に輸入しつゝある支那燒酎を防遏する爲めに朝鮮燒酎を釀造するのであるさうで近來ボツボツ事業が興つて來たやうである江拓林鐵道は此地を中心點として東北の兩方に鐵道を敷設し

咸鏡線に合し

北するものは吉州に出でて東するものは廳頂嶺を經て淸會線に連絡するのであるから鐵道の建設と伐木事業の擴張と共に此地の將來が期して待つべしである。此木材の陸路輸送を目的とする鐵道の建設と對比すべきは今回此地方の木材商と安東縣義州方面有志の發起に係る鴨綠江林業株式會社（資本金三百萬圓）の江流を利用する木材の流下であつて、一は鐵道によつて迅速に搬出せんとし、一は日時の遲延は免れざるも

搬出費低廉の

利益あるを以て之を補はんとするのである。本會社は現今豆滿鴨綠兩江の筏夫供給並に流筏請負ひ等を爲しつゝある○ヱ組の組織を更めて會社組織とし、且事業の範圍を擴張して伐木、運材、漂流木收拾、木材に關する金融、植林等をも爲さんとするもので惠山鎭では今西勘太郞、久東茂二太郞村善松の諸氏、中江鎭の管內では上林辰一郞、川邊源太郞、今西利八、岩本正一、高瀨敬藏、猿田乙松、橋本楠太郞の諸氏

新乫坡鎭では

田村卯之七氏等が相聯合して發起人となり下流の有志と共に設立中で本店を安東縣に支店を惠山鎭に置く筈である此の陸と河との運輸の競爭は頗る興味ある問題である。官廳としては憲兵分隊、警察署、營林廠支廠、郵便局、普惠面役所及守備隊等が存し、朝鮮製紙會社、三井物產等かれ木材を搬出しつゝあるので此の地に駐在員を置いて木材の流下を監督して居る

小額紙幣は來年六月限

市場で持て囃される 夫れ以後は發行せぬ

今日迄に一億三千萬圓を發行

日獨講和條約批准と共に戰時法令は總て廢止となる譯であるが此の中戰爭の影響を受けて一昨年十一月

緊急勅令 で發布された小額紙幣の發行も批准後一箇年を以て其效力を消滅する事になつてゐるから現在市場で盛んに使用せられてゐる五十錢、二十錢、十錢の各小額紙幣は勢ひ明年六月限りで發行が禁止せられる事になつてゐる今日迄過去

二年間に 發行された小額紙幣の額は約一億三千萬圓で一箇年に六千萬圓・一箇月にするこざつと五百萬圓宛の所謂小額紙幣が發行せられてゐた譯である併し大戰以來の好景氣は津々浦々迄財布の底が金で唸る有樣なので小額紙幣は金のやうな氣がしないと厭はれつゝも補助貨拂底の折柄市場では旺に持囃され今日迄札が破損して

日本銀行 へ戾つて來た數一千五百萬圓內外を除いて一向親元の日本銀行へ歸つて來ない所を見ると市場の景氣は未だ幾許でも金を必要して居るものらしい

水道料五割騰る

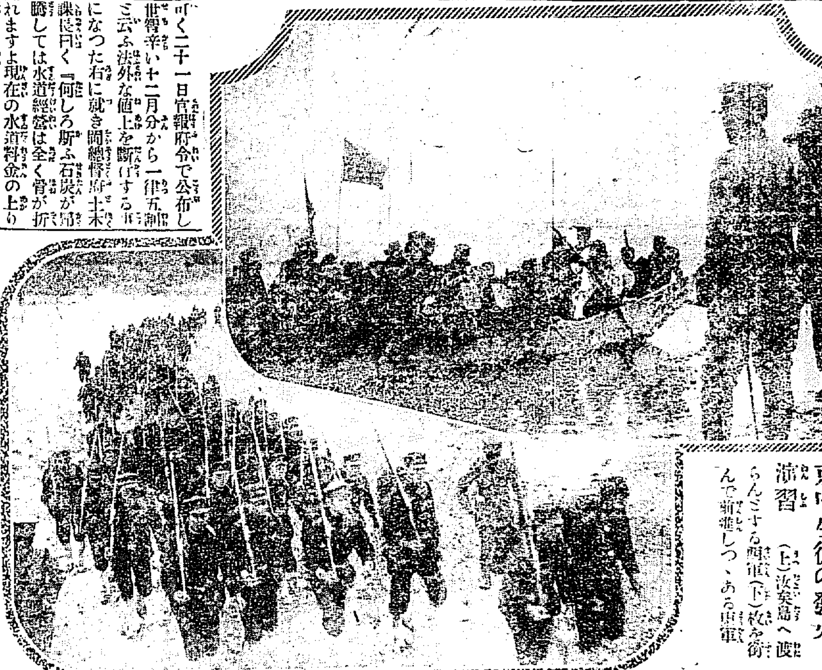
石炭の騰貴と工事費の膨脹から

歸する所はなぜ久しく控ね卿して居つた水道料金も物價低落は此の先鳥渡見當が付かず不廉い石炭を遠慮なく使はねば斷水又斷水で市民の攻擊ばかり受けて居らねばならぬ是れで如何な官廳でも到底

算盤の持ち 堪が無いこあつて總督府は愈々値上を爲すこ可く二十一日官報府令で公布し世智辛い十二月分から一律五割値上を斷行する事に就き間總督府土木課長曰く『何しろ斯ふ石炭が騰つては水道經營は全く骨が折れますよ現在の水道料金の上り高では年々

二十萬圓 宛石炭代が缺損になつて居る樣な仕末、今度の五割引上でもヤット此の二十萬圓が取り返せるか怎うかと思つて居る處で當局の見込では之でも未だ多小の缺損は免れまいと思はれます其外人夫賃昂騰に依る工事費の膨脹等を加へると

容易では ありません、それで一般の不評判がよくないと云ふのですが、ご尤もな話で知つてゐ、のは月給位なものでしょう云々』



京中生徒の發火演習　（上）汝矣島へ渡らんとする兩軍（下）枚を銜んで前進しつゝある東軍

米國教化團來る

社會救濟大運動の爲

是迄に二億圓以上の大金を費つた

米國の各敎會聯合世界敎化大運動團々長ウオルレー氏外男一名女十六名一行は上海北京奉天を經廿日午後七時三十分入京朝鮮ホテルに入り三日間滯在二十四日（月曜日）出發日本に向ふ豫定にて滯在中齋藤總督は一行を招き茶話會を催すべし同團は敎會を透して世界の社會救濟事業を興さんこする者にて米國美以派率先して已に同派のみにて世界の同事業に四千萬弗、國內の同事業に四千萬弗又歐戰爭に依り荒廢せる土地の救濟に二千五百萬弗、合計一億一千萬圓を醵出したるが長老派其他も之に準じ大資本を募集し今後七箇年に渡りて其計畫を實行の目的なりこ

歌留多戰の序幕

將に開かれむとする 本社主催の秋季大會

一等には純金メダルを進呈　各團體選手出盡せむ

愈々歌留多シーズンに入つた東京では既に同業萬朝報社主催の全國歌留多大會の序幕が切つて落され滿都を擧げて最う歌留多の白熱期に入つてゐる、朝鮮も

弗々練習 を始めてゐるらしく京城は云はずもがな仁川大田孜山其他も夫々によつて練習を開始したらしい、全鮮の歌留多界を一擧するこ何んこ云つても矢張京城が一番盛んで團體こしても京城倶樂部の別選である美矢飛倶樂部、星山萬鐵の漢江會、市中の鶴、隼、二葉、御芳野、明星などの各會が

儕々たる 多士を擁してゐる、仁川は巨頭上田氏率ゐる下に、蓮會が大同團結を堅くしてゐるらしいが先づ中央に出て其他の各地こも相當に腕を鍛へても覇者こなり得るものは大田の不二會であらう。本社は吉例により來春早々全鮮歌留多大會を擧ぐる筈であるが更に

春秋二期 こ云ふ東京の例に倣ひ先づ來る卅日（日曜日）秋季大會を擧行する事こなり十九日本社に各方面の幹事諸君の參集を乞ひ協議を遂げた結果愈々左の通り之を擧行する事こなつた

會期　來る卅日午前十時より
會場　南山町梅の家
會費　金五十錢、中食は希望者の爲に設備す
賞品　十五等まで進呈
但し一等には規定の賞品以外本社金メダル、以下六等までには銅メダルを進呈す

競技規定

▲選手は一二流混合の事▲持札は一流廿五枚、二流廿枚こす▲一敗失權の事▲同志打を避くる事▲滑止一回限りこす▲其他從來の通り

歌留多季節の序幕こも見るべき本社の此大會は到る處

大評判で 京城龍山の各會が相率ゐて出場するは勿論、仁川其他地方の選手も轡を並べて出場し更に新進無名の戰士も腕を撫しつゝ當日を鶴首して待つてゐるこ云ふから當日は正に一騎打の白兵戰を演ずべく其盛況は蓋し言語に絕するであらう希くは奮へ戰士！

京中健兒の發火演習

壯絕を極む

京城中學校では二十日同校の大演習を京城汝矣島で擧行した寒威骨に徹する早朝霜を踏んで京中校庭に集まつた七百の健兒は意氣天を衝くの概あり三年以上が背囊を負ひ銃劍嚴めしく武裝すれば午前八時半假設敵たる西軍先づ帽に白帶して出發し引續いて實員本隊たる東軍が

隊伍整々 校門を出發した東軍は漢江左岸を前進中の敵を殲滅すべき目的で尖兵を前出し隊、本隊の順序を以て鷺梁津街を前進し頻りに斥候を放つて敵の來るを求めて居る中午後一時半汝矣島高地に於て西軍に遭遇し『好敵御參なれ』こばかり一齊射擊を浴びせ懸け西軍の怯む隙に乘じて痛快なる

突擊戰に 移つた、是が東軍は一溜りもなく潰亂し東軍に隨て直に此高地を占領したの三時半で西軍は却々の出來榮、同時に演習中止の喇叭が高く〳〵鳴り響いた一二年生は沙上に在つて此壯烈なる決戰を見物したが興味の餘り、大は途に泥交りの雨こなり江上に聳り立つ漢江山は雲の如く鼠いく沙上を吹く寒風は骨も凍らんばかりであつた此雨中に

分列式が 龍々こ行はれ終つて講評あり一同元氣旺盛足並揃ひて歸校したのは午後三時半であつた同當日は步兵第七十八聯隊より指揮官及び喇叭手等が參加したので一層演習が引立つたやうである

眼を惹いた繰絲作業

三女官の製絲會社視察

李王妃殿下が絕へず產業に留意せられつゝある事は既に周知の事實であるが二十日は特に金尹の二尙宮及び金內人（何れも御側付の女官）を崇仁洞なる製絲會社へ遣はされ製絲の實況を視察せしめられた、一行は三女官の外

國分次官 申、康兩武官、御學問所の住永季子女史、等などである、此日會社では社內外の清掃に努めたが一行は午後二時四十分同社着、階上休憩室に小憩の上、同社專務石塚徹氏の案內で繰糸工場、揚返し場、倉庫、寄宿舍等を順次見て步いたが約百名の女工が孜々こして

湯氣の中 で繭から細い〳〵絲を取る所謂繰絲の實況は殊に三女官の眼を惹いたやうである、斯くて觀察を終つたのは午後四時であるが石塚專務は『李王家から社業視察の恩命に接し感激に堪へません、今後益々製絲界の爲めに努力する決心です』こ語つて居た

支那紙幣僞造犯人

檢事局送り

平安北道宣川郡南面建山里二統六戶朴洪濟（三）京城府新建洞三百十九番地鄭成元（二）平安北道宣川郡東面路下里同龍來（三）同道龍川郡北中面北帖里張錫根（三）住所不定李明治（二）同洪箕壽（二）同鄭雲衡（四）京畿道水原郡廣州面甚現里趙啓顯（不詳）京城府需昌洞金駒（二）同和泉町四十七番地朴宗燦（二〇）の十名は外國紙幣僞造並に行使罪として二十日檢事局に送られたるが右は本年三、四兩月に亘り鍾路六丁目二百一番地安佑濟方地下室に於て吉林官帖一萬二千枚を僞造したる一味なりこ

大邱着陸場に警官派出所

伊太利飛行機の着陸場こ決定した大邱市外八達橋畔五萬坪の廣場は何れも畑にして未だ大根其他の農作物の植附けの儘なるを以て先般來耕作者は之が取入れに着手し居り又數名の人夫出動して地均し工事の準備を整へつゝあるが來る廿三日頃より約千名の人夫を使役して大々的工事に著手する事こなりたるを以て附近の混雜を防ぎ且つ警戒の爲め大邱警察署に於ては十九日八警派出所を新設し內地人巡査一名鮮人巡査一名を派出する事こしたり（大邱）

舞戾つて捕はる

雜貨屋荒しの片割

京城府中學洞八十三番地金學善（三二）は本年七月頃竹添町二丁目十七番地朴克玉（三二）こ共謀して鍾路二丁目八十二番地雜貨商趙命倩方の錠前を捩じ開け店頭に在りし指輪外十二點價格二百四十圓及び現金十四圓を窃取逃走したるが朴克玉は間も無く取押へられ八月頃檢事局に送られしも一方金學善は巧に蹤跡を晦し諸所を徘徊したる揚句本月十三日頃京城府內に入込みし處を町署に取押へられ二十日檢事局に送らる

電車に注意

十九日午後一時頃龍山發東大門行電車百號が鍾路五丁目百九十五番地先を進行中蓮池洞五十一番地元姓女（三）が突然電車の前を橫切らんこするより警鈴を鳴らし乍ら運轉手は直ちに停車せんこしたるも遂は惰力の爲め救助網に觸れ打ち倒れたれば直ちに鍾路病院にて手當を施したるが負傷は輕微なりこ

咬傷

市內本町三丁目四十九番地平佐こしの方飼犬は十九日午後四時頃本町三丁目八十一番地草野留吉三女菊（一）に咬傷を負はしたれば該犬は繫留を命じ目下細菌試驗所に於て血液試驗中なり

◎玉突競技會　明治町二丁目大正軒にては二十二日より五日間玉突競技會を開催し本賞賞任賞等ある由

[illegible]……同夜再び外人倶樂部に[illegible]しく感興深かりしもの、如し

安値　四八、〇〇
〆め　四八、三八
東株　四三〇、一〇
同新　四四八、九〇
同新　一四五、三〇
商船　一五五、一〇
堂米　一九四、九〇

十日の便秘も一服で通じる　其快よさ

セクニナラズ　よくつうじる

健通丸

大阪市北濱　合資會社　參天堂藥房　電話本局 一一二〇〇四・五

定價十錢より壹圓まで各地の藥店にあります

株式名義書換停止　拾弐月當日ヨリ定時總會終了ノ日迄　朝鮮製紙株式會社

廿一日より大提供　久保田常一派　新派大悲劇　曙　全三卷　天下一品……新大撮影　狸親爺大快擧

大久保彥左衞門こ　忍術奴　全五卷六千呎

伊國大アンブロジオ會社作　泰西悲活劇　炬火　全四卷　天活會社の逸品

當館の特長……每週新派西洋物活劇こ三種の優秀映畫を提供し六時まで半額階下を全部こし見心地誠に宜敷きため毎夜滿員

黃金館

京日案內

開店　かしわ◎より鍋◎丼物◎御料理仕出し　京城旭町一丁目五八　電話呼出二一一三番　八雲

外交社員招聘　業務擴張に付希望者は履歷書携帶來談あれ　京城府旭町一ノ七十一番地　電話三〇八〇番

寫眞技師助手至急入用　希望者は至急履歷書を送附あれ　滿洲長春　藤阪寫眞館

店員　廿五歲迄の者數名及び印刷に經驗有る者數名　京城本町二丁目　正氣堂　電話二〇六九番

古本高價買入　遠近多少不論御報參上　京城本町二ノ五九　文光堂書店

內外勤社員招聘　內鮮人不問　希望者は履歷書携帶午前中來談　京城黃金町一ノ八　電話五五七番　帝國生命保險株式會社

內地人外勤社員募集　希望者は午後四時迄履歷書持參　京城黃金町二丁目　有隣生命保險朝鮮支部

電話　九百圓以上即金買入　京城光化門通　電話六八〇番　坂本

鹽價値下

鎭南浦	京城	大邱	釜山	元山	群山	木浦
一、一一	一、七六	一、九一	一、九四	一、八八	一、九〇	一、九三

本價格は包裝一等鹽百斤當の價格なり一等鹽は目下品切れ

財務局廣梁灣出張所

小野田セメント信託　京城岡崎町停留所前　山本村太郞材木部

御待兼の　落語歌舞音曲笑話　橘圓次郎　大一座　愈々今晚六時より開演　浪花館

五週年記念　大賣出し　十一月二十一日ヨリ二十五日マデ（五日間）

冬着買入の好期　本冬を以て創業滿五ヶ年を迎へたる弊店は御愛顧の爲め記念品を贈呈し何品共確實に內地元價にて見切品は實に半値段の大英斷を以て提供仕候　▲又こ得難き冬物の御買ひ時▼

京城本町二丁目　まる三　吳服店

謹告

曩に國最上印醬油斗樽貳千樽を特價販賣仕候處各方面の御家庭より多大の御用命に接し豫定より早く昨二十日にて全部賣り切れと相成候間此段謹告仕候

尙今後當樽にても精々勉强仕御宅迄御送可致候間不相變御注文之程願上候

朝鮮永登浦　大塚醬油釀造所　販賣部　電一一〇番

夜の蜘蛛 江見水蔭

二九　挿畫 近藤紫雲

金剛倶樂部の喫煙室に傲然と構へて葉卷を啣へてゐるのは、田部谷明である。若い紳士二三人を向ふに廻して、盛んにメートルを上げてゐたが、其處へ水上頼之伯が入つて來たのを見て、忽ち氣象臺を狂はした。

『や、どうも水上伯爵……さア此方へ……暫くお目に掛りませんでした。別にお變りも御在ませんか……』

別にお變りの有りさうも無い昨日逢つたばかりなのだ。田部谷は人前が有るので、直這んな出鱈目を云ふのである。

頼之は微笑を含みながら輕く會釋をして、安樂椅子に掛けた。他の二三の紳士は、田部谷から中てられてゐた處なので、伯の來たのを幸ひに、いづれも球突き場の方へと去つて了つた。

それと見て田部谷は忽ち、恐も無い程ピョコ／＼お辭儀をして。

『昨日は如何もお蔭で助かりました。貴郎に救つて頂かなかつたら、どんな事に成つてゐるか分かりませんでした。實に有難う御在ました。早速御禮に伺はなければ相濟まぬので御在ますが、いろ／＼商用が立籠みましたので……』

『いや／＼お禮になんて、それには及ばんが、實は私の方でも是非貴郎にお目に掛つて話したい事が有るので……此處へ來れば貴郎に逢へるだらうと思つて來て見たんで……』

『いや、もう、どんな御用でも貴郎の爲には勤めまするで、御遠慮なくお命じ願ひます』

『いや、そんな難かしい用ぢやア無い。つまり報告が有るのでな』

『はア報告？』

『あれから私は銀線カフヱーへ出掛けて見た』

『あッ彼女、既う歸つて居りましたか……』

『いや、君。彼所へは既うカルメンは歸らないよ。僕が行つてゐる中に、電話で暇を取つてね』

『あッ電話を掛けましたか』

『淺草のやつこから掛けたと分かつたので、幸ひ日立君も一緒だつたので、二人で淺草へ自動車を飛ばして見たよ』

『うむ、彼女、やつこで鰻なんか食ひよりましたか』

『處が、一足違ひで、我々は裏口の方から入る。彼女等は表の方から出た處で……』

『彼女等と被仰るからには、例のダムダム彌次が一緒なんですな』

『酷い奴だ。僕の金で男と一緒に鰻を食やアがッて……』

『そんなに憤慨したッて仕方が無い。それから我々は活動寫眞の追掛けを眞似に演じたので、結局瓢水池の附近で彼等二人の影を認めて、宮戸座の前まで追しましたが、酷く混雜の態に陷つて、到頭見失つて了つたので。や、報告と云つても材料は、それだけの事なんだがね』

『や、どうも有難う御在ました。淺草邊に未だウロ／＼して居りましたか。今夜は私が捜査に行つて見ませう』

『いや、それは昨夜の事だから今夜行つても同じ處にゐるかどうか、それまでは保證出來ないが。何にしても悄むべき毒婦だよ』

『本統に酷いですよ。私は腰が未だに痛い。大道の眞中へ一本背負は除りです』

『其處で田部谷君、僕としては一ッ面白い事業が出來たので、それは彼女を發見して、君の復讐を遂げるといふことなんだがね。當分それに熱中して見たいので……』

『どうか何分宜しく願ひます』

『其處で、今日は日立君にも來て貰ふ約束がしてあるので、僕の事業始めを祝して、一杯遣る筈でね。君にも是非萬障を繰合せて來て貰ひたいのでね』

『行きます／＼、何處にでも行きます。實は私の方から一獻差上げて、聊か昨日のお禮を致したい處なんで……』

『それには及ばん。唯君の體だけ貸して呉れば好いので』

『それで場所は何方です』

『例の銀線カフヱーさ』

『あッ、銀線カフヱー？あの家は當分鬼門ですよ』

京城の名物(南大門通り) カフヱータイガーの 洋食 こすき 婦

鯛ちり よせ鍋 權平庵 終日人蔘湯の設備あり 京城本町五丁目電話二三三七

日報俳壇

●白き紙屑

○ 中村 紫光(京城)

無日君快方

撲て掌に明らさまなる葡萄哉

葡萄吸ふて卓晴やかに對座哉

秋霖に怖れ雨暗く踞る障子哉

秋の日やカーテンの色に虫動く

仲秋や街の中なる野菜畑

秋出水に岸崩れたる木の根哉

栽物落に紙屑白き火鉢かな

秋の日や瓢の水を滴らす窓

街中に樹を伐る音や秋の晝

一葉すや夜の庭を猫聽き歩く

刈りし籾を束ね揃ぐや夕蜻蛉

走りつゝ帆をかはす船や秋の雲

唐笠箔がれしそこら掃く秋の夕

虫啼くや庭月明の大銀杏

○ 小谷山紫坊(仁川)

夕べ噺く牧場の馬や稲光

稲妻や夜業の灯透く鍛冶が門

宵を錬める伏せ籠の鶏や朝寒

朝寒き木小屋に流る砥水かな

毬栗や雨霽れて旭にはぜる音

寺詣へば麥蒔き居りぬ秋時雨

果樹園や柘榴はじけし秋の色

船を上る朝寒き磯の人數哉

唇赫き開墾畠や蕎麥の花

蕎麥咲くや照降雨の寒き麓村

○ 彼上 正雄(一坡)

伶人の顔寒氣なり秋の風

大いなる鯊釣り落したる水青々

兒を呼び歩く兒の顔に寒き夕日

枯草に疲れ臥す我家留守けし

飛び散りし雀又集る軒の朝日

出句者の告白

五選句一等入賞者 宇野 野川

當紙紙上俳句會五選句一等に當選致したる觸鉛の句に付き不肖の句が或る雜誌より出吟したるに非らざるやの疑問を受けたれど元來小生の身の上は大正六年八月龍山軍司令部參謀山本大佐馬丁として當地に參りしものにて俳句を作る事は一向に知らざりしが去る十月京城鐵工場に行きて鈴木水月氏丸山高椋氏と種々俳句の話しを致し居るうち[illegible]

將棋新手合(四)

左香落 △京城熊谷順太郎(三段) ▲京城廣戶 庄吉(初段)

於京城黃金町三丁目二三五 蒋島示將棋所(電話二〇一八)

(圖は前號指了迄の局面)

△持駒熊谷氏歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂		銀	金				香	一
	玉								二
	歩	銀	歩			桂		角	三
歩		歩				飛	銀	歩	四
	歩		歩	角	歩		歩		五
		飛						歩	六
歩				銀	歩	歩	歩		七
				金		銀	玉		八
	桂				金		桂	香	九

△七七桂 ▲三一角(カ) △八四歩 ▲同歩 △八五歩 ▲九七角ナル △六四歩 ▲五四歩(ヨ) △七四飛 ▲九六角 △同角 ▲同銀 △同歩 ▲九六角(タ) △八三銀 ▲九三玉 (以下次號)

落合木六段講評

▲(カ)三一角は惡手なり 目下玉頭危險狀態に陷ひる虞れあれば七二金を守る處なり

▲(ヨ)五四歩も惡し 此處は一旦角將の[illegible]逃れて守る含みにて七二玉と指す處なり

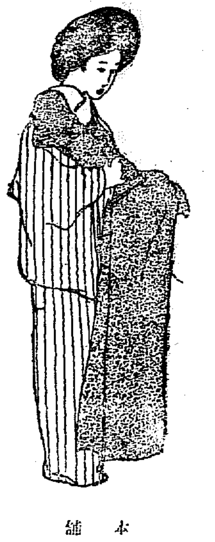
▲(タ)九六角打ちは形勢に依らず[illegible]

讀者の領分

▲美事な古錢(文錢)のみ)四五十個及び大保錢等持合致居り相當價額に御讓り致します(イトウ) ▲越何樣へ厚く感謝します御雜に接し早速電話二九四へ御掛けしましたが一向に分からず殘念で御座いました甚だ失禮ですがもう一應御知らせ下さいませんでしょうか(一苦學生) ▲私は新龍山漢江通十六番地の三三住の方にて御たづね下さいませ ▲京日の日章の左右に一瓶と記したる物に[illegible]あらざれば價値がない(古泉遊) ▲鋼錢の古泉御所持の方は御分讓[illegible] ▲(大邱北龍岡町二丹羽) ▲佐女肴[illegible]八女の方に根本的自己治療法[illegible]殺す忠南牙山局留信[illegible] ▲居所通報あれ(蠶光生) ▲一般[illegible]佐先生轉してより肥後名物の兎[illegible]ント催されず今や[illegible]は來り[illegible]何故て[illegible]動下の[illegible]に先んじ最近に於て[illegible]が二寸表に四文字[illegible]に[illegible]なつて居ります如何なる年代の[illegible]か御存じの方は本欄を借りて教へて下さい(不思僕生)

十一月號卷披露選と共に課題肩掛、小春、麥蒔、炭、霜各五題共魚鳥獸類の內一つ讀込みを作るべしと數は十七字を吟じたるに『小春日に猫も日南[illegible]』[illegible]寂かな『野鼠に麥蒔鍬をなげにけり』『炭竈の小屋に來て鳴く小鳥かな』『霜の朝軒の雀のふくれけり』各句選に入りし內『霜の朝軒の雀のふくれけり』は三人宗匠の通句となりたるより益々俳句に趣味を覺へ一時々以文會に參りて末座に連席してゐたやうな次第で今回の蜻蛉に付きては不肖は雜誌を見たるに非ず或日曜日妻の畑にて自菜の手入をなし鍬を傍らに置きしに蜻蛉來りて其柄にとまりたり其節又御社の課題蜻蛉を思ひ付き種々考へたれども面白き事も出來ず共內友人來りて話しながら煙草をなり又行きて見れば二た度鍬の柄に蜻蛉留り居るを見る其れより『鍬の柄な蜻蛉に貸して煙草かな』と吟じたやうな次第で心より吟じたるは決して差支なく思つて居ります前述『霜の朝軒の雀のふくれけり』も朝馬の手入を致した歸りたるに軒に雀ふくれて鳴き居るを見其れを吟じたるのみなり

レート白粉



お化粧の第一は

白さの上品な事

只お化粧したからといつて決して美くしくなるものではムいません。お化粧には落附のある、上品な白さが態とらしくない美くしさを持つて居らねば「まあ！美くしい」といふ讚の美くしさはムいません。それで、落附のある上品な白さとなると、お化粧を爲やうと思へばレート白粉の外には、全く理想のものはムいませんまい。殊に寒さ向きの此節は、尤もお化粧の善惡が良く分る時でムいますから、レート白粉と、有觸の白粉と、附け較べて御覽になると「成る程こうも違ふものか」と思はれる程、お化粧榮えの美くしさが違ひます。レート白粉は附けて地肌から白さが浮き立つて其白さに上品な艷のある事、全く生れつきからの白さのやうでムいます。

濃化粧にはレート煉白粉を附けた上へレート粉白粉で刷きされると、美くしうムいます。そしてこく、お肌の荒れをば防ぎます。

本舖 東京 平尾賛平商店 大阪

内容を公示して責任を明かにせる

處方明記

○ミツワ家庭藥

ミツワ家庭藥は內容を祕して徒らに萬能を說くが如き賣藥に非ず。現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助機關也

特長

一、處方を明記し內容を公示す。

一、處方的確にして奏効顯著なり。

一、製劑精確にして効力一定不變なり。

一、藥品純良にして中毒の危險無し。

一、容器完全にして變質の虞無し。

一、內服藥は錠劑にして服用し易し。

一、價格低廉にして永く保存に耐ふ。

凍瘡皮膚龜裂皹裂に對し効力無比なる

○ミツワ凍瘡藥 みつわ・しもやけのくすり

一壺金貳拾錢

主要成分 サリチール酸、精製カンフル、ペルーバルサム(詳細は說明書にあり)

適應症候 凍傷、皮膚龜裂、皹裂、水蟲、其他瘙痒を伴ふ皮膚病。

寒氣に因つて手足或は耳殼などの皮膚に炎症を起し、皮膚が紅くなり、痒く又痛く、温まると益々痒く水疱れが出來、搔き壞すと皮膚が剝けて潰瘍をつくる凍瘡、同じく寒氣の爲に皮膚が乾いて荒れる皮膚龜裂、これの一層進んで皮膚の裂ける皹裂、指の間などに小さな水疱れが出來て幾分痒く、搔くと其の中から水様の液が出る俗に謂ふ水蟲などには、ミツワ凍瘡藥を塗るに限る。

皮膚の損傷に應用すべき家庭常備藥

○ミツワ撒布藥 みつわ・ただれぐすり

紙函入 小金十錢 大金廿錢

主要成分 タンノホルム、硼酸、炭酸マグネシウム、酸化亞鉛、澱粉(詳細は說明書にあり)

適應症候 汗疹、手汗、足汗、多汗症、腋臭、表皮剝脫、皮膚擦爛、皮脂漏、疥瘡、蕁麻疹、濕疹

外傷や種々の病症の爲に、皮膚が剝けたり爛れたりした場合。四季に拘はらず、手掌或は足蹠或は腋窩などに汗が多く出て、心地惡く、而も嫌な臭氣を發する症、皮膚から脂肪が出過ぎてそれに塵埃が附いて汚らしい皮脂漏それが原因となりて出來る疥瘡、其他汗疹、濕疹、蕁麻疹などには、ミツワ撒布藥を用ふるに限る。

座瘡を治癒し毛瘡白癬に卓効ある

○ミツワ座瘡膏 みつわ・にきびのくすり

一壺金二十錢

主要成分 イクチオール、サリチール酸、沈降硫黃、精製カンフル(詳細は說明書にあり)

適應症候 座瘡、皮脂漏、酒渣鼻、毛瘡、白癬、疥癬、粃糠疹

座瘡は年頃の男女の顏に屢しく出來、針先から小豆位の大きさの丘疹で、其の尖頭に黃色い膿をもち、其周圍は紅く腫取り、膿が出ると小さな瘢痕が出來、其跡に黑い色素が遺り、容貌を損めて醜くする座瘡、皮膚が膩きつて脈な光澤を帶び、幾度拭いても復忽ち元のやうになり、其に塵埃が附いて汚らしい皮脂漏。此等皮膚病にはミツワ座瘡膏を塗るに限る。又座瘡などを豫防するにはミツワ石鹼と芳香健膚藥のミツワ[illegible]を用ひねばならぬ。

腋臭を治癒せしむべき制臭制汗藥

○ミツワ腋臭藥 みつわ・わきがのくすり

一壜金參拾錢

主要成分 フォルマリン、サリチール酸、タンニン酸、安息香丁幾(詳細は說明書にあり)

適應症狀 腋臭、陰臭、手汗、足汗、其他汗の多き或は臭き病症

腋臭は腋の窩から出る汗が不快な臭氣を放つのである、足汗は足袋や靴下などの爲めにむれて分解して惡臭を放ち、時には水疱が出來て、痛み或は痒く、足は常に濕氣を帶びて冷たく、凍瘡を起し易い。手汗は手掌が濕つて衣服や器物を汚し、常に紫色を呈して冷たい。是等の腋臭、足汗、手汗にはミツワ腋臭藥を塗るに限る。

頑癬殊に陰囊癬及白癬に大効ある

○ミツワ頑癬膏 みつわ・たむしのくすり

一壺金貳拾錢

主要成分 ベタナフトール、沈降硫黃、木タール、酸化亞鉛(詳細は說明書にあり)

適應症候 頑癬、陰囊癬、白癬、疥癬、蟲疹、其他細菌等の寄生に因つて起る皮膚病。

頑癬の中最も多いのは陰囊癬で、初め陰囊に紅い圓い斑が出來、其の周圍に小さい水疱をつくり、漸々大きく廣がつて、皮屑や痂で被はれた輪形が出來て、甚だ痒いもの。白癬とて頭部に出來るしらくも又顏面に屢々出來るはたけ、其の他ぜにたむしなどの類、或はひぜんと稱へ、疥癬と謂ふ蟲が寄生して起る皮膚病で指の間、腋窩、腹部、臀部、陰部の附近などに出來て頗る痒いもの。是等の皮膚病に罹つた場合には、ミツワ頑癬膏を塗るに限る。

制痒の効著しく繃帶の要なき糊膏

○ミツワ制痒膏 みつわ・かゆみどめ

一壺金貳拾錢

主要成分 石炭酸、酸化亞鉛、グリセリン、トラガカンタ(詳細は說明書にあり)

適應症候 皮膚瘙痒症、汗疹水蟲、濕疹、蕁麻疹、痒疹、火傷、凍瘡、皮膚龜裂、疥癬、蟲類及び魚類に刺されたる場合

ミツワ制痒膏は痒みを止めるのが目的であつて丘疹や水疱又膿疱が出來、ジク／＼濕つて痒くてたまらぬ濕疹、肛門や陰部の皮膚に瘙痒を感ずる皮膚瘙痒症、手の指や足の趾の間に小さな水疱が出來て、瘙痒の著るしい水蟲、其の他凍風、蕁麻疹、火傷、凍瘡、皮膚龜裂、汗疹、蟲類及び魚類に刺された場合には本劑を塗るに限る。本劑は普通の膏藥と違ひ清潔で粘著かず、繃帶する要が無く、至極便利で、而も奏効確實の良劑である。

家庭治療法(定價五拾錢)但參拾五錢を郵券にて申込あれば進呈す

痔疾のあらゆる種類に卓効を奏する

○ミツワ痔坐藥 みつわ・ぢのくすり

六個金四拾錢

主要成分 鹽酸コカイン、タンノホルム、[illegible](詳細は說明書にあり)

適應症候 痔核、痔瘻、肛門裂創、脫肛、肛門內に瘙痒ある場合、肛門部に疼痛或は灼熱感ある場合

痔核即ち疣痔とは肛門の內或は外に小豆位から鷄卵程の大きさの結節が出來て、多少痛み時々出血するもの。痔瘻即ち穴痔とは肛門の內外に孔が出來て膿の出るもの、肛門裂創即ち裂痔とは肛門の粘膜が裂けて劇しく痛み血の出るもの、是等にはミツワ緩下錠で便通を適當にし、ミツワ痔坐藥を用ふるに限る。

ミツワ家庭藥の種類と定價(內地以外は郵稅運賃を加ふ)

品名	數量	定價	品名	數量	定價
ミツワ健胃錠	百錠 三十錠	[illegible]	ミツワ鎭部錠	百錠	[illegible]
ミツワ制酸錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ治淋藥	カプセル五十個	[illegible]
ミツワ消化錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ淋疾洗滌液	[illegible]	五拾錢
ミツワ緩下錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ點眼液	[illegible]	拾五錢
ミツワ止瀉錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ鼻病液	一壜	參拾錢
ミツワ解毒錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ齒痛液	一壜	貳拾錢
ミツワ驅蟲錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ含嗽錠	[illegible]	參拾錢
ミツワ清涼劑	[illegible]	[illegible]	ミツワ[illegible]錠	[illegible]	貳拾錢
ミツワ解熱錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ鎭痛液	一壜	四拾錢
ミツワ袪痰錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ殺蟲液	[illegible]	[illegible]
ミツワ鎭咳錠	百錠	[illegible]	ミツワ發毛液	一壜	五拾錢
ミツワ結核錠	百錠	[illegible]	ミツワ腋臭藥	一壜	參拾錢
ミツワ人參錠	百錠	[illegible]	ミツワ撒布藥	大一函 小一函	[illegible]
ミツワ强方人參錠	百錠	[illegible]	ミツワ泥膏	一壺	拾錢
ミツワ婦人湯藥	[illegible]	[illegible]	ミツワ制痒膏	一壺	貳拾錢
ミツワ婦人坐藥	六個	五拾錢	ミツワ頑癬膏	一壺	貳拾錢
			ミツワ座瘡膏	一壺	貳拾錢
			ミツワ凍瘡藥	一壺	貳拾錢
			ミツワ痔坐藥	六個	四拾錢

發賣品目錄御申込次第進呈 ミツワ石鹼本舖 東京[illegible]町 丸見屋商店

日本郵船出帆

大連天津牛莊行 濟州丸 十一月廿六日正午 鳥砂丸 十二月七日正午 營口丸 十一月十六日正午

△都合ニ依リ本船出港前二時間迄ニ[illegible] △但シ濟州丸乘船[illegible] 仁川海岸町一丁目[illegible]

尼崎汽船出帆 仁川出帆

群山大阪行 赤城丸 十一月十七日後四時 一心丸 神代丸 秀吉丸 君が代丸 大有丸 十一月十三日後四時 印船客御斷 △仁川海岸町一丁目 高杉回漕 電話五九

互光商會汽船廣告

◎第三元山丸 元山、西湖、城津、雄基行 十一月[illegible]日 ◎第三春日丸 門司、宇品、神戶、大阪行 十一月[illegible]日 釜山 大池回漕部 元山 田口回漕店

りん病 ばい毒 請合藥

◉淋病新生藥は治淋劑とし梅毒主藥は驅梅內服藥とし醫學上最有効と鑑定し[illegible]帝國大學[illegible]等にて當據配劑せる高貴藥なるを保証す 若し前述の証言に違ふ事を證見せる時は分析料百圓進呈

にせ物あり 有田取扱所

◉あらゆる治療をすゝめ効なき患者は兎に角一度來談あれ

京城黃金町三丁目電車通 有田ドラッグ(長電話二八三三番)

京城南大門外停車場通 有田ドラッグ[illegible]

龍山練兵場前 釜山大廳町二丁目 元山本町三丁目 平壤道廳正門斜向 仁川宮町二丁目 大邱弓町停車場前 鎭南浦警察署前 開城南本町二八九 晉州大安洞榮町 大連岩代町

東京日本橋通四 大阪心齋橋筋本町 有田ドラッグ